



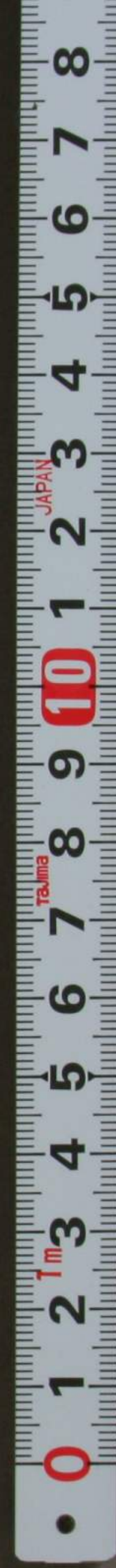
小學讀本

卷之六

行數六百七十二行

明治十五年  
 九月  
 廿九日  
 中  
 乾

|      |
|------|
| 洋学文庫 |
| 文庫 8 |
| C 98 |
| 6    |



少學讀本卷之六



第十二節

第一課

汝ハ此大ナル美ニキ家屋ヲ如何ナル人ノ住家  
 ト思フヤ○コレハ富ナル人ノ別荘ニシテ其周  
 圍ニ愛スヘキ森ト花園トアリ○此家屋ノ屋根  
 ハ如何ナル造リ方ナリヤ○<sup>又</sup>其家根ハ幾個ノ部

宇田川準一 譯





見又玄閑ノ西側

家ニ沿テ

分ニ別レタリヤ (其家根ニハ)  
烟突アリヤ○汝ヨク此回  
ヲ見レハ譯是等ノ事ヲ詳  
ニ語ルコトヲ得ヘシ○汝  
ハ其他此家屋ニ就キテ如  
何十ルコトヲ見ルヤ  
○我人烟突窓ト玄閑等  
ノ通帯ノ形ニヨリ異十ルヲ  
見アルヲ見ル○汝

ハ常ニ此ノ如ク目ニ觸ルノ所ノ事ヲ用  
ヒテ見ルヘシ然ルトキハ数多總テノ事ニ通  
シテ博識ノ人ト成ルコトヲ得トハ十ニ並ニ大

第二課

今ハ春ノ時候十リ○鳥數多會鳥ハ快キ声ヲ発  
シテ囀リ子羊ハ草原ノ上ニ跳リテ遊ビ樹ハ新ニ  
キ芽ヲ出シ草ハ青々トシテ平地ヲ蔽ヒ景色甚  
夕爽カ十リ○是ト同シク人非幼年十ルハ恬毛  
春ノ如ク其心ハ強壯其心ハ爽快ニシテ活潑ナ

Handwritten notes in the top right corner, including the characters 'ル' and 'ル'.

ルニハ此時コソ學向トオ  
智トノ種子ヲ蒔クヘキ時  
ナリ○此女子ハ今花園ニ  
束リ花ヲ掣キ取リテ前垂  
音震ナルノ内ニ貯ヘ居レ  
リ○廿ハ春ノ時候ヲ好マ  
サルヤ又鳥花草木並ニ大  
陽ヲ好マサルヤ○我等ハ  
此ノ如キ其心ヲ慰マシム

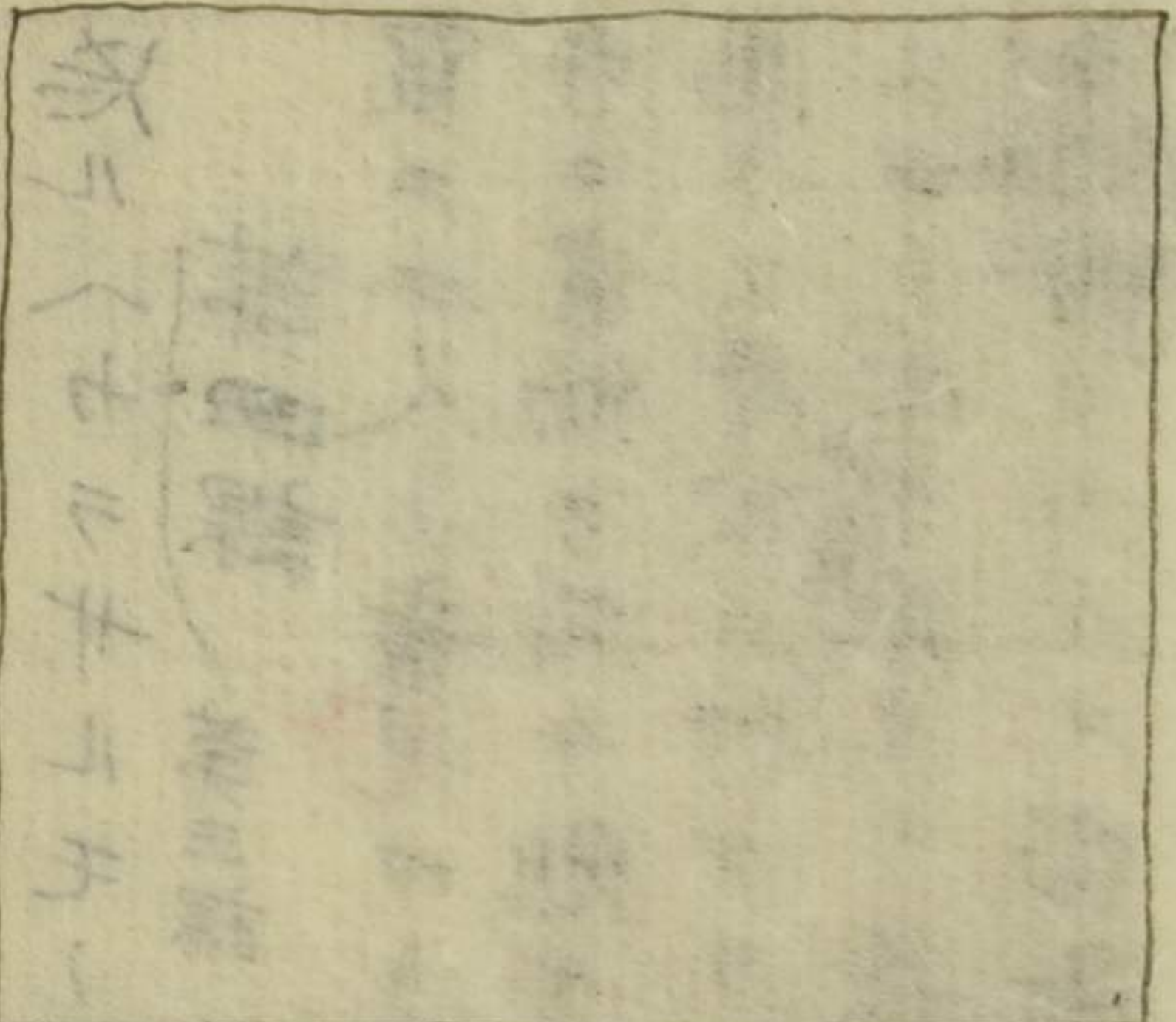
ル為ニ右ノ如キ諸物ヲ創造シタル造物主ニ向  
ヒテコレヲ謝セサルハカラス又生涯其恩惠ヲ  
忘ルヘカラサルモノナリ

第四課

第三課 後ニ在リ

爰ニ二人ノ童兒アリ○右ニ腰掛ケタル童兒ハ  
手ニ書物ヲ持テ勉テコレヲ讀ミ居レリ○彼人  
急ラス學校ニ行キテ日課ヲ勉強スルノミナラ  
スヨク心ヲ用ヒテ其書物ヲ扱フニハ既ニ久シ  
ク使用シタレトモ尚新シキ書物ヲ如ク見ユ○汝

ハ他ノ童子<sup>子</sup>ヲ如何ナル性  
 質ト思フヤ○彼人急リモ  
 ノト見ヘテ手ニ書物ヲ持  
 テトモ<sup>心ヲ用ヒ</sup>テ扱ハ<sup>ル</sup>カ  
 シタメ<sup>ル</sup>書物多クコレヲ<sup>細</sup>キ<sup>ニ</sup>微  
 シタリ○彼人元束書物ヲ  
 讀ムコトヲ好マサルニハ  
 書物ニ向ヒテモ明ニ<sup>中</sup>レ  
 其急リモノナルヲ知レルヤ○然リ彼人顔ヲ見  
 ヲ讀ミ過スゴト能ハス○汝人彼人顔ニ由リテ



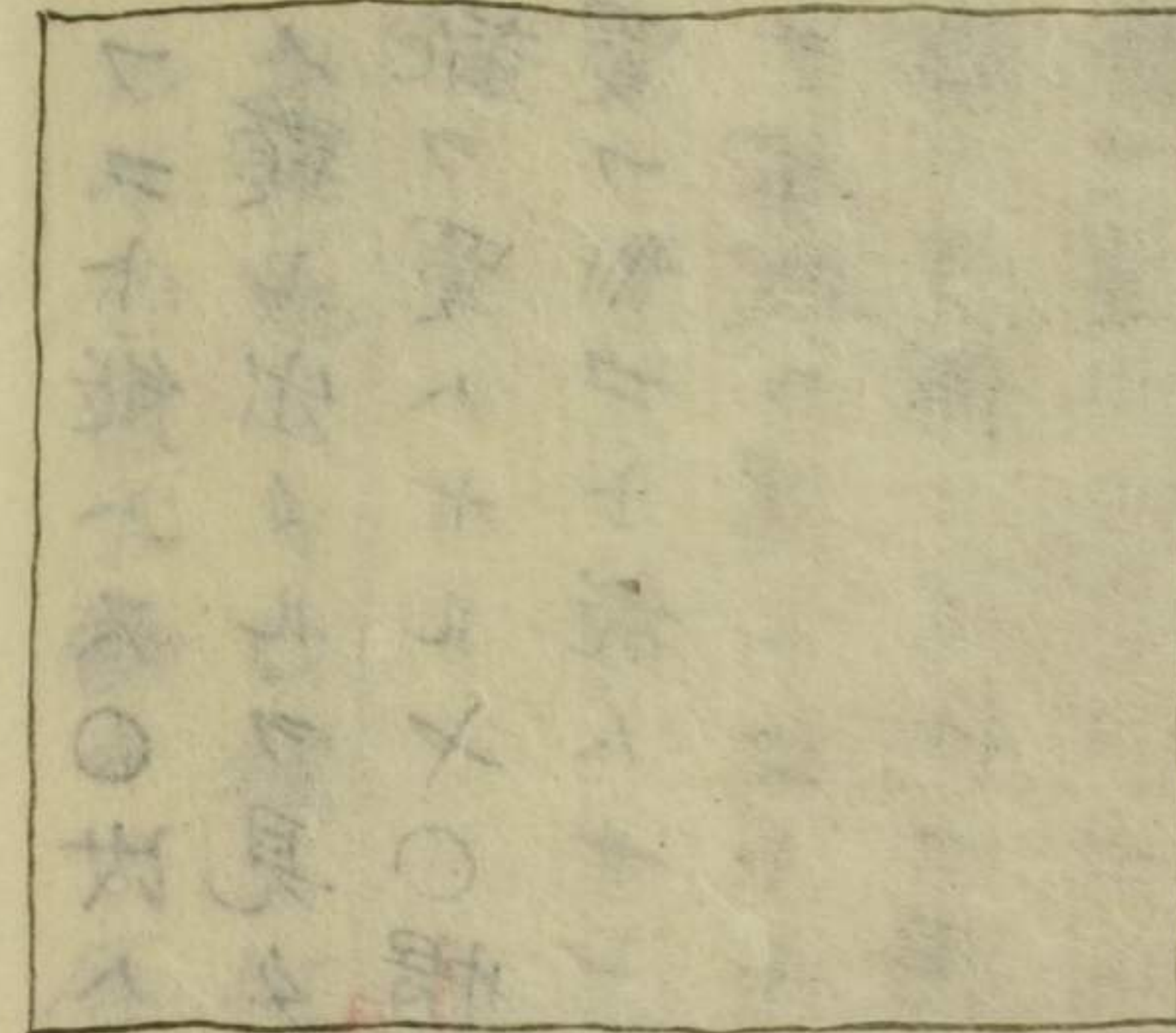
ルトキハ其急リモノナルコト明ナリ○然ラハ  
 彼老<sup>賢</sup>智<sup>賢</sup>コク勉強ニシテ書物ヲ讀ムコトヲ好  
 メル童子<sup>子</sup>ニテモ其顔ハ尚急リモノ、如ク見エ  
 ルヤ○否其時ハ急リモノ、如ク見エ<sup>ル</sup>ハ<sup>ル</sup>ハ  
 ス<sup>智</sup>コク<sup>賢</sup>ニテ勉強ナルモノ、如ク見エ<sup>ル</sup>ハ<sup>ル</sup>ハ  
 第<sup>五</sup>課  
 此人ハ急リモノナリ○彼人急リモノト見<sup>ル</sup>ハ  
 ヤ○彼人何故ニ起キ出テ働カサルヤ○彼人急  
 リモノナルニハ晝ニテモ出テ働カスニテ待ラ

子ヲ冠レリ○彼人何故ニ善キ帽子ヲ買ヒ得サ  
 ルヤ○彼人働キテ金錢ヲ得サルユヘコレヲ買  
 子ヲ冠レリ○彼人何故ニ善キ帽子ヲ買ヒ得サ  
 誰ナリト思フヤ○コレハ  
 前ノ四ニ出シタル童兒  
 ノ一人ニシテ今既ニ壯年  
 ニ及ビタレトモ猶童兒ノ  
 時ノ如ク急リモノナリ○  
 彼人甚タ古キ破レタル帽  
 子ヲ冠レリ○彼人何故ニ善キ帽子ヲ買ヒ得サ  
 誰ナリト思フヤ○コレハ  
 前ノ四ニ出シタル童兒  
 ノ一人ニシテ今既ニ壯年  
 ニ及ビタレトモ猶童兒ノ  
 時ノ如ク急リモノナリ○  
 彼人甚タ古キ破レタル帽  
 子ヲ冠レリ○彼人何故ニ善キ帽子ヲ買ヒ得サ

フコト能ハス○汝ハ彼ノ靴ノ破  
 ノ顯レ出タルヲ見タリヤ○彼人何故ニ新シキ  
 靴ヲ買ハサルヤ○帽<sup>是赤</sup>子ト用シテ  
 買フコト能ハサレハナリ○然ラハ彼ハ働キ  
 テ金錢ヲ得ルコトナキヤ○否時トシテハ暫時  
 働キテ僅ノ金錢ヲ得ルコトアレトモ帽子又ハ  
 靴ヲ買フ<sup>使</sup>ニコレヲ<sup>使</sup>サルナリ○彼人其  
 金錢ヲ何<sup>使</sup>ニ用セルヤ○汝ハコレヲ知レリヤ○  
 次ノ四ヲ見ヨ、然<sup>ル中</sup>人其<sup>使</sup>所ヲ知ルヘシ

第六課 茅

此人前ノ四ニ畫キタルト同シ人ニシテ唯少



シク年老タル所ナリ○彼ノ顔ト姿トヲ見ヨ○其鼻ノ高キト顯ノ尖リタルト姿ノ賤シキトニ由リテ其人ナルコト明ナリ○此人ハ如何ナル處ト思フヤ○此處ハ酒舖ノ賣店ナリ

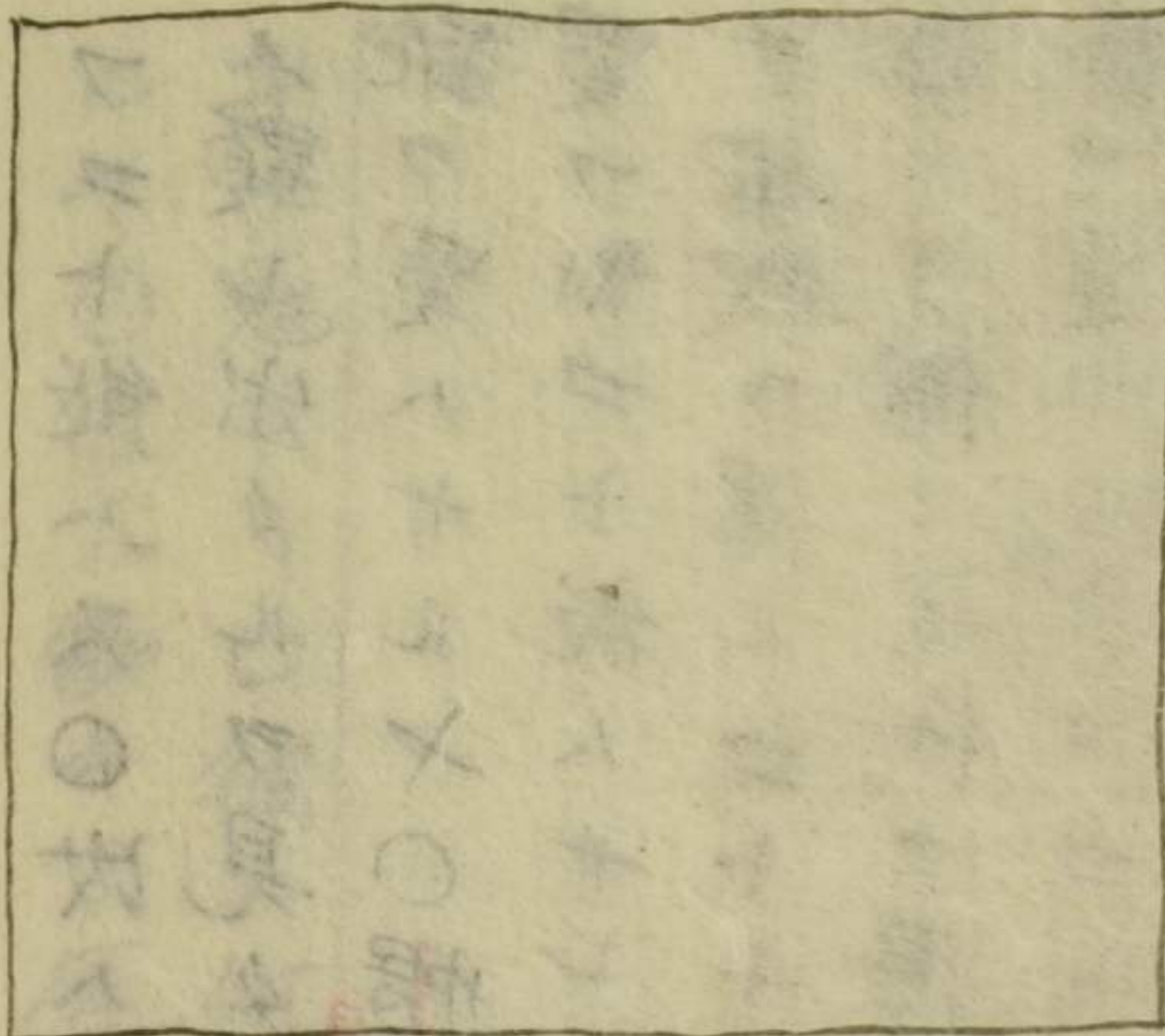
リ○彼人何ノ為ニ此處ニ來レルヤ○彼人酒ヲ買フ為ニ來ルルナリ○酒ハ其種類ニ由リテ適宜ニ飲ムトキハ身体ヲ強壯ニスル効ナキニ非サレトモ其種類ヲ撰マシテ乱用ス

此ノ酒ハ其種類ニ由リテ適宜ニ飲ムトキハ身体ヲ強壯ニスル効ナキニ非サレトモ其種類ヲ撰マシテ乱用ス

モリナリ○然ルニ彼ハ地境酒ハ如何ニ強キ酒ヲ飲スルコト能ハスルヤ○其酒ハ如何ニ強キ酒ヲ飲スルコト能ハスルヤ○其酒ハ如何ニ強キ酒ヲ飲スルコト能ハスルヤ

第六課

此人前ノ四ニ畫キタルト同之人ニシテ唯少



シク年老タル所ナリ○彼ノ顔ト姿トヲ見ヨ○其鼻ノ高キト題ノ尖リタルト姿ノ賤ニキトニ由リテ其人ナルコト明ナリ○此人ハ如何ナル家ト思フヤ○此ハ酒舖ノ賣店ナリ

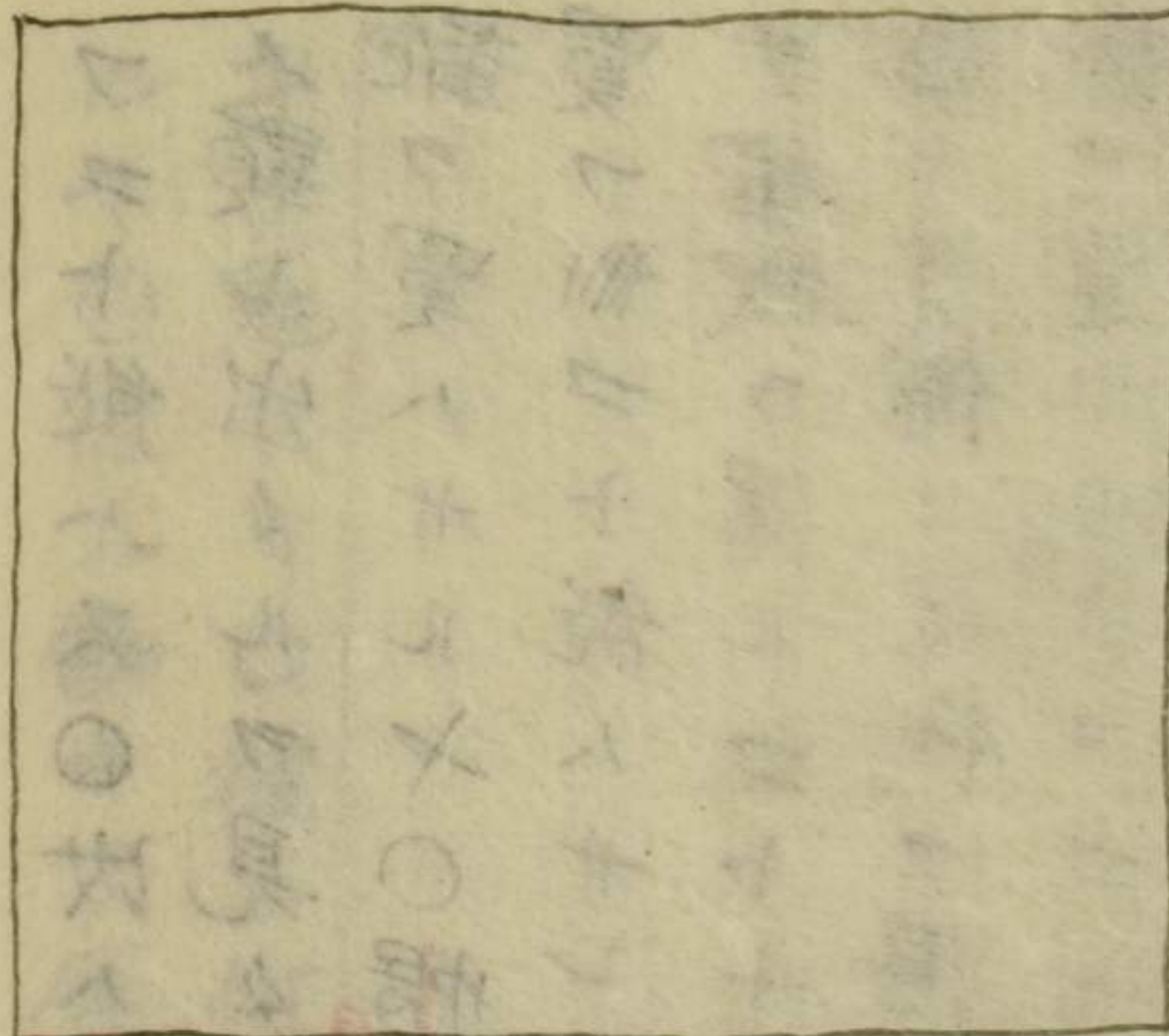
リ○彼人何ノ為ニ此処ニ来レルヤ○彼酒ヲ買フ為ニ来レルナリ○酒ハ其種委ニ由リテ適宜ニ飲ムトキハ身体ヲ強壯ニスル効ナキニ非サレトモ其種委ヲ撰マシテ乱用スレト大ニ健康ヲ害スルモノナリ○然ルニ彼ハ其理ヲ辨ヘスニテ屢々地焼酒ノ如キ強キ酒ヲ飲ミタルニ遂ニキヲ禁スルコト能ハス○此ハ酒ヲ嗜ムノ弊ヲ大酒家ト成リテ其難ヲ更ニ顧ミテ向々得タルヲ念ラ絶ツコト能ハス○故ニ汝此ノ如キ人ト成ラ

料ニ費ヤスモ尚ホリ遂ニ盗心ヲ生シ奪ヒテ其料ニ給テ命ヲサテスニ至



第六課

此人前ノ四ニ畫キタルト同之人ニシ



シク年老タル所  
ノ顔ト姿トヲ見  
ノ高キト題ノ尖  
姿ノ賤ニキトニ由  
人ナルコト明ナ  
此如何ナル  
ヤ〇此如何酒舖

① 金銭ヲ悉ク飲酒ノ料ニ費ヤスモ尚ホ  
飽クコト能ハサルニ至リ遂ニ盜心ヲ生シ  
他ニ金銭器物等ヲ奪ヒテ其料ニ給テ  
タル其悪業終ニ余境ニ獄中ニ  
繫カレテ貴重ノ生命ヲ失スニ至  
レリ 第十三節ノ第三課  
ヲ參ヘ見ルベシ

リ〇彼人何ノ為ニ此処ニ来レルヤ〇  
買フ方ニ来レルナリ〇酒ハ其種委ニ由  
適宜ニ飲ムトキハ身体ヲ強壯ニ  
ナキニ非サレトモ其種委ヲ撰マシテ  
レト大ニ健康ヲ害スルモノナリ〇然  
其理ヲ辨ヘスニテ屢々地焼酒ノ如キ  
飲ニタルニ遂ニ中ヲ禁スルコト能  
也 兼キ大酒家ト成リ其大酒家ト  
念ラ絶ツコト能ハス隨テ妻ノ困難ヲ更ニ顧ミシテ向々  
率ニタルナリ〇故ニ汝更ニ此ノ如キ

スコレテ幸福ヲ受ケンコトヲ希ヘハ常ニ曲其行  
ヲ正クシテ學向ヲ勉強セサルヘカラス

第三課 前へ擇り上ケル

人ハ万物ノ靈ナレハ鳥獸等ト相異ナリ直立  
シテ歩行スルコトヲ得○獸類ハ人ト同シク物  
ヲ見物ヲ嗅キ、物ニ感シ、物ヲ聞キ、物ヲ味フコト  
ヲ得又声ヲ発スルコトヲ得シトモ事物ノ道理  
ヲ解スルコト能ハス○<sup>能ハルニ</sup>人ハ之ニ反シテ能ク事  
理ヲ考究シ且ツ其思慮ヲ発語スルコトヲ得ル

モノナリ

此大ナル世界ハ人ノ為ニ造物主ノ造リタルモ

山水、樹木、人、鳥、獸、  
魚、家屋、畑、田、  
入レル

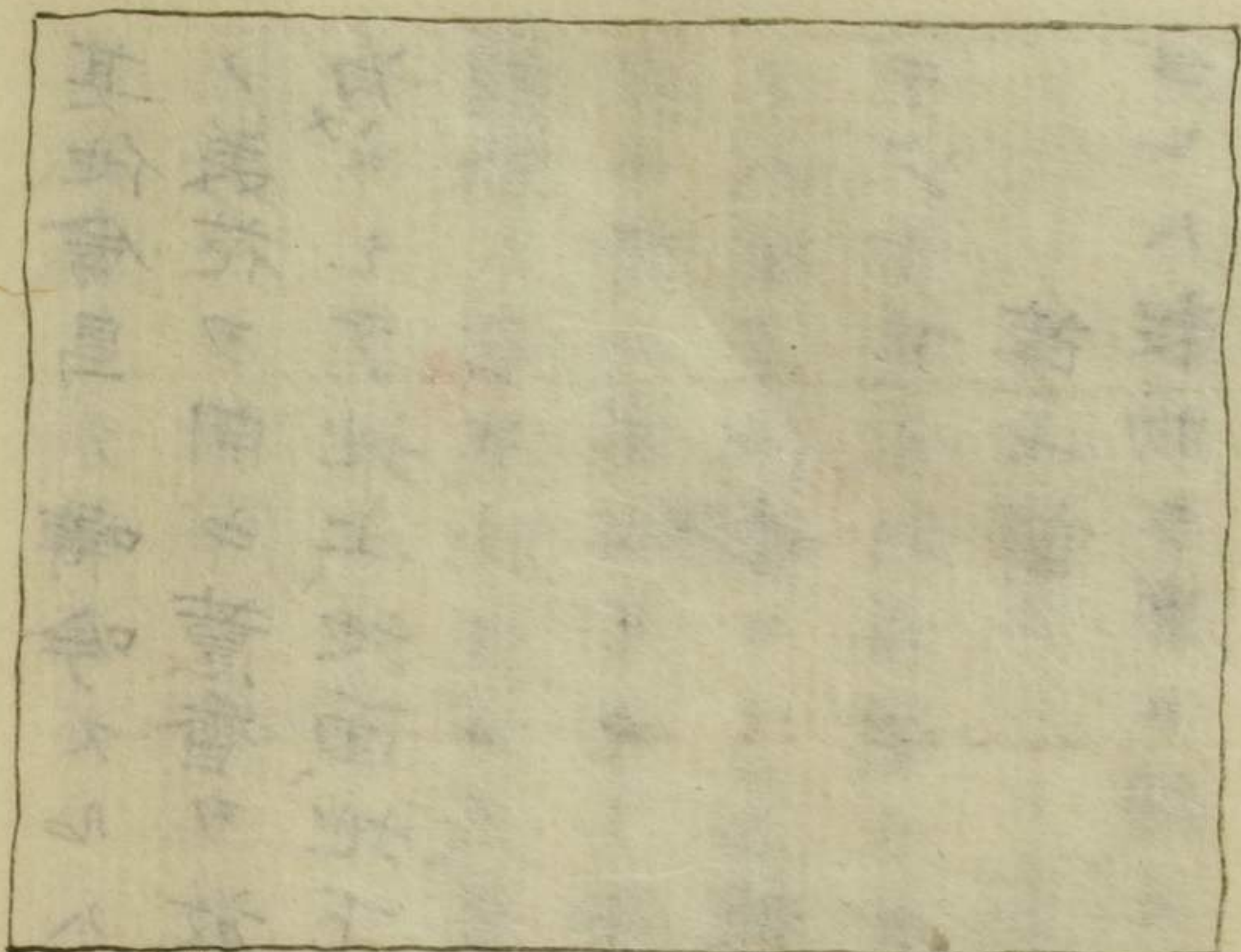
ノニシテ人ノ住棲息スヘ  
キ場処ナリ○造物主ハ其  
他太陽ト月トヲ造リテ此  
世界ヲ晝夜照明ナラシメ  
又地上ニ蒼々タル草木ヲ  
生長セシメテ人目ヲ樂マ  
シム

凡フ人ノ生活スルニハ如何ナル者ヲ要スルヤ  
ト云フニ先ツ食物ヲ要スルニハ田野ニハ諸穀  
物ヲ生セシメ森林ニハ鳥類獸類及ヒヲ生セシ  
メ海河及湖等ニハ魚類ヲ生セシム又衣服ヲ要  
スルニハ草綿ヲシテ木綿ヲ生セシメ蠶ヲシテ  
絹縲ヲ生セシメ獸類ヲシテ其背ニ長キ毛ヲ生  
セシム又家屋ヲ要スルニハ木石等ヲ生シ又  
必須ナル器械ヲ構造スルニハ地中ヨリ鉄ノ如  
キ金屬ヲ産出セシム

其他禽鳥ノ囀吟スルハ人ノ耳ヲ樂マシメ草木  
ノ美花ヲ開キ薰香ヲ放ツハ鼻目ヲ歡ハシムル  
為ニシテ地上、地面、地下及ヒ海河等ノ中ニ在ル  
諸物ハ皆造物主ノ人類ニ賜與シテ其需要ヲ供給シ歡  
樂ヲ与サシムルモノナリ○是ヲ以テ人々タルモ  
ノハヨク此理ヲ了シ謹シテ之ヲ拝受シ勤勉ニ  
テ以テ其生計ヲ営マサルヘカラサル也

第七課

コレハ穀物ヲ車ニ積ミ野ヨリ歸リ来リテ今門



= 入ラントスル所ナリ  
 ○ 此穀物ノ上ニ乗リタ  
 ル三人ノ中ノ二人ト内  
 内ニ立テ一人ハ其帽  
 ラ振り動カセリ○汝ハ  
 此穀物ヲ何ナリト思フ  
 ヤ○コレハ小麦ニシテ  
 先ツ十舎ニ積ミ込ニ其  
 後穂ヲ打テ落シ穀殻ト

實トラ別ナテ貯フルナリ○此實ヲ曲ニ入シ挽  
 キテ製シタル白キ粉ハ麵包、團子及ヒ饅頭等ヲ  
 造ルニ用フ○糠汝ハ穀物ノ種類ヲ知レリヤ○  
 穀物トハ稻、麦、粟、黍、稗等ノ總稱ニシテ麦ニモ亦  
 種類アリ即チ小麦、裸麦、燕麦及ヒ大麦ノ如キ是  
 ナリ

第八課

此童子等ハ何ヲ為ス所ナリヤ○彼等ハ魚ヲ釣  
 ラントスル所立ツヘキ是場ヲ築キ居ル所ナリ

○此処ハ池ノ邊ニシテ莫ク釣ル為ニ彼等ノ常

ニ行クヘキ場所ナレト

其水涯ハ甚タ泥深キ

カ故ニ立ワヘキ足場ヲ

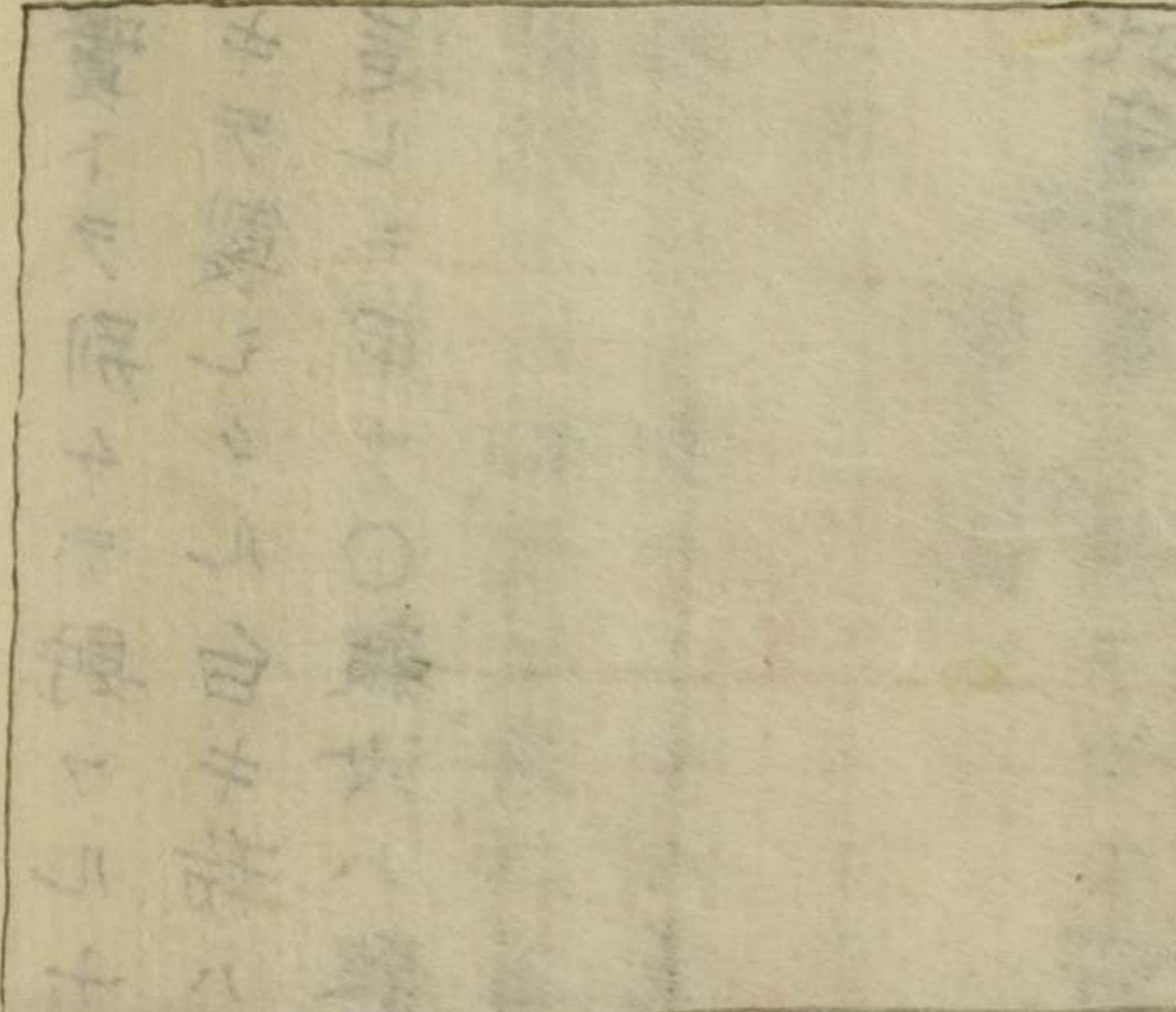
築カテト考ヘタルナリ

○汝ハ跪キタル童子ヲ

見タリヤ○彼ハ何ヲ語

リ居ルト思フヤ○彼ハ

石ヲ持テ来ルル童子



等ニ其石ヲ置クヘキ場処ヲ語レルナリ○石ヲ

運ヒ来レル童子等幾人ナリヤ○三人ニシテ其

中ノ一人ハ单独ニテ一個ノ石ヲ運ヒ来リ他ノ

二人ハ相共ニ一個ノ石ヲ運ヒ西側ヲ持テテ運

ヘリ○尙故キ彼方ヨリ来レル童子等幾人ニテ

一個ノ石ヲ運ヘルヤ○此石ハ甚タ重クシテ一

人ニテ擧グルヘシハサレハナリ

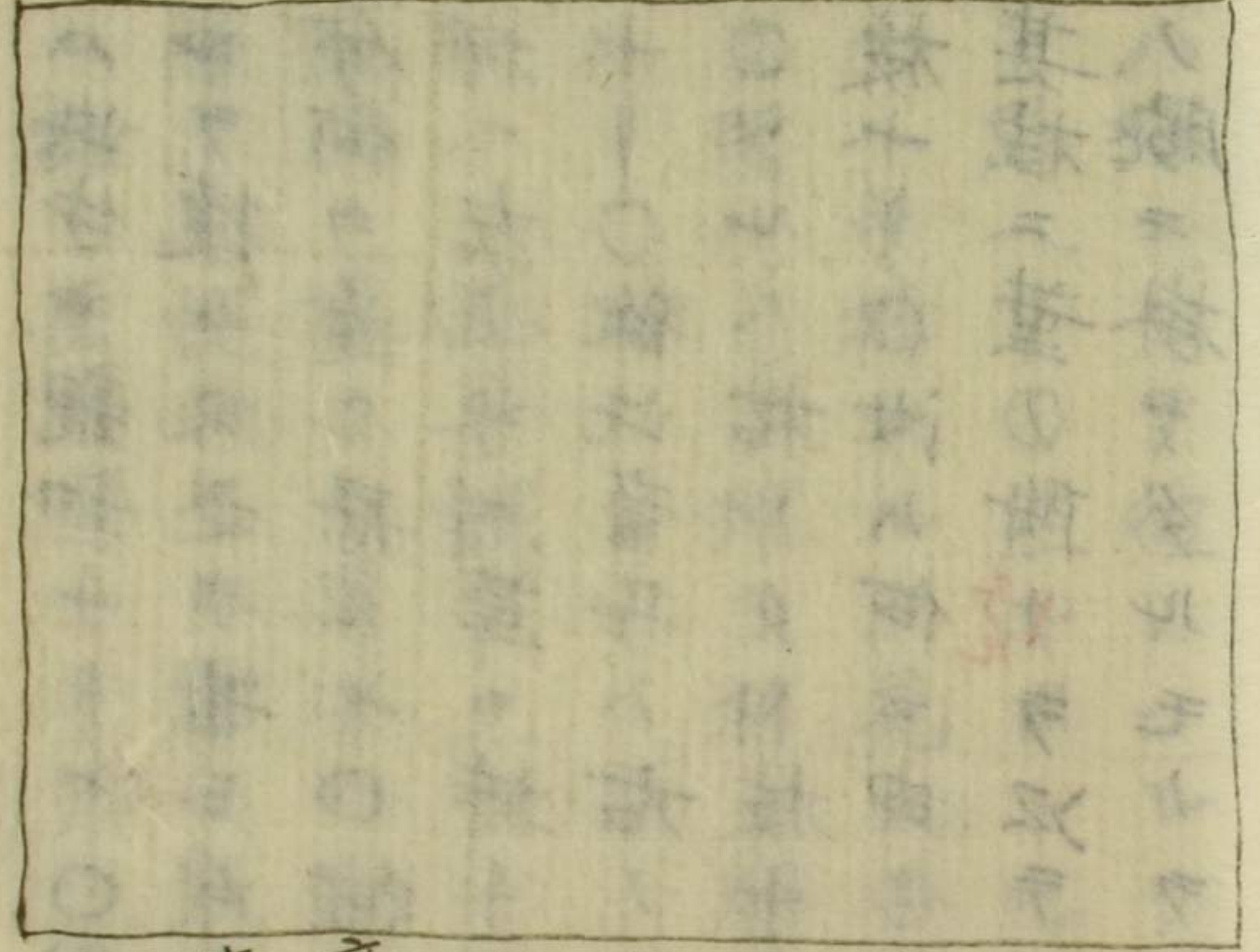
汝ハ此ノ如キ足場ヲ築クニ木石及ヒ土等ノ

中何品ヲ用ヰルヲ最モ堅固ナリト思フヤ○

此童子<sup>等</sup>ハ何故ニ石ヲ以テ之ヲ造レルヤ○近傍  
 ニ用フヘキ木十キノニ十ラス石ニテ築ク片ハ  
 最モ堅固ナレハナリ○汝ハ此童子等ノ働ケル  
 近傍ニ生長スル者ヲ何ナリト思フヤ○コレハ  
 水辺ニノミ生長スル葭芦ノ類ナリ

第九課

コレハ老タル牛ナリヤ○コレハ柔和ナル老牛  
 ニシテ頭ニ繩ヲ纏ヒ結<sup>リ</sup>○  
 故<sup>ニ</sup>此童子ハ更ニ彼ヲ忘ル<sup>ル</sup>トナシ○彼ハ其  
 角ヲ以テ衝クコトナク又其足ヲ以テ蹴ルコト



ナケレハナリ○然ラハ  
 何故ニ今其繩ノ一端ヲ  
 樹ニ結着スルヤ○其乳  
 ヲ搾リ取ル間自由ニ動  
 ク能ハナラシムル為ニ  
 以テ乳ヲ搾リ終レハ此  
 童子ハ彼ヲ牧場ニ連レ行キ  
 其繩ヲ取り去<sup>リ</sup>テ隨意  
 ニ遊ハシムルナリ○彼

ハ此牛ニ親切ナリヤ○然リ甚ク親切ニシテ  
之ヲ握チ又之ヲ苦シムルコトナシ○此童子ハ  
今何ヲ為シ居ルヤ○彼ハ右ノ手ニテ牛ノ頭ヲ  
押ヘ左ノ手ニ草ヲ持チテコシニ食ハシムル所  
ナリ○~~此~~此童子ハ右ノ手ニ~~持~~小枝ヲ持テリ  
○ソレハ枯レタル枝ナリヤ○否、未ク枯レサル  
枝ナリ○汝ハ何ニ申リテ其然ルヲ知レリヤ○  
其枝ニ葉ノ附~~ク~~ラシテ之ヲ知レリ○此ハ童子  
ノ腕ニ掛ケタルモノヲ何ナリト思フヤ○コレ

ハ環ニシテ彼ハコレヲ轉カシ遊ブコトヲ好ム  
ト思ヘリ○然レ~~モ~~トモ~~我~~ハコレヲ轉打チ轉カ  
スヘキ棒アルヲ見ス○彼ノ手ニ持テル枝ハ甚  
ク弱小ニシテ環ヲ打チ轉カスコト能ハスト思フ  
ナリ

第十課

此圖ニ畫ケル男子ハ此ニ~~不~~少年ノ伯父ニシテ其  
曾テ見認~~セ~~セル種々数多ノ珍異ナル事ヲ彼等  
ニ話シ居ル所ナリ

伯父曰ク余嚮<sup>去</sup>地球ヲ周遊シタル際一度  
甚々寒キ国ニ到リシニ全三個月間太陽ノ昇ル

此ノ如キ国ハ  
何処ニアリト思フヤ○此國  
ハ兩極ノ近傍ニアル者ニシ  
テ汝等<sup>不</sup>既キ教師<sup>耗</sup>跡<sup>之</sup>ヲ

コト十ク常ニ夜ニシテ<sup>其人</sup>僮民  
ハ皆雪及ビ氷ニテ造リタル  
家屋ノ内ニ住メリト○ニ才  
年向カ汝等<sup>此</sup>ノ如キ国ハ  
何処ニアリト思フヤ○此國  
ハ兩極ノ近傍ニアル者ニシ  
テ汝等<sup>不</sup>既キ教師<sup>耗</sup>跡<sup>之</sup>ヲ

浦<sup>註</sup>キ<sup>シ</sup>カ<sup>シ</sup>ムル<sup>ル</sup>ナルヘシ

伯父又曰ク其国ニテ数多ク山ヲ見タリシカ其  
頂ハ決シテ雪ノ融<sup>解</sup>ルコト十キホド高ク  
且ツ寒クシテ人若シコシニ登ルトキハ其頂ニ  
届ラサル前ニ既ニ凍死スルニ至ルト○一少年  
向フ太陽ハ何故ニ其雪ヲ融解セシメサルヤ又  
其地ニハ夏ノ季候十キヤ○伯父答テ曰ク此季  
候無キニ非サレトモ其地ノ夏ハ我<sup>邦</sup>ノ最モ寒  
キ冬ノ季候ヨリ更ニ寒ク且ツ山ハ登ルニ從ヒ



テ益寒キモノ十レ八十リ

(其度ヨリ大ト烟ト)

伯父曰ク数多ノ高山ノ中ニハ又~~間々~~火ヲ噴出スル者アリテ其之ヲ噴出スルノ量状ハ宛モ烟突ヨリ烟ノ出ツルニ異ナラス~~余~~コレヲ見テ其量ヲ推算シタルニ此ノ如キ大量ノ烟ヲ発セシルニハ通常ノ烟突一万個以上ヲ集合セサレハ能ハサルヘシト想ヘリ○ニ少年ハ之ヲ聞キテ甚夕大ナル話ナリト思ヒニ十ル可ケレトモコレ全ク眞實ノ事ナリ

ニ少年ハ右ノ如キ話ヲ~~聞~~聴キテ甚夕喜ヘルカ故ニ伯父ハ其乘リテ航海シタル大ナル船海中ニ

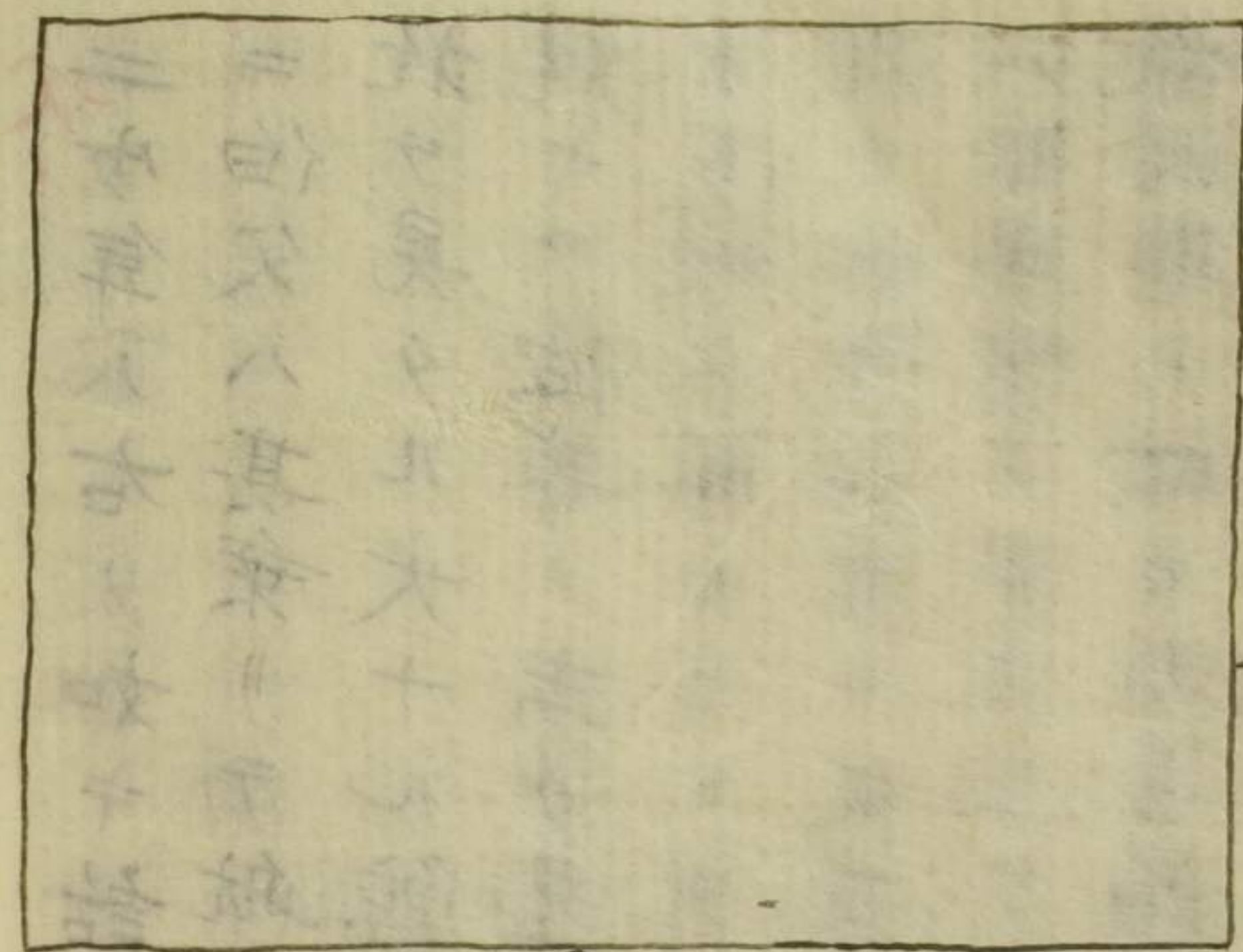
於テ見タル大ナル鯨~~及~~虎~~及~~獅~~等~~ノ如キ動物ニ就キテ彼等ノ未夕見聞セサル数多ノ珍異ナル話

ヲ逐次ニ聞カシメタリ此ノ如キ話並ニ父母又ハ教師ノ常ニ為セル話

ハ皆眞實ノ事ニシテ且ツ記憶スヘキモノ~~ナ~~ル故汝等ハ心ヲ潜メ謹ミテ之ヲ聴キ以テ其智識

ヲ増進セシムヘシ

第十一課



爰ニ男見ト女見トアリ女  
見ハ一個ノ帆ヲ張リタル  
小舟ヲ池上ニ浮ヘ之ニ  
長キ紐ヲ結着シ其一端ヲ  
握リテ彼方ニ進行スルト  
モ流ニ失スル患十カラシム  
○此舟ニハ唯一本ノ樯ア  
リ其帆ニ凡ヲ受ケテ進

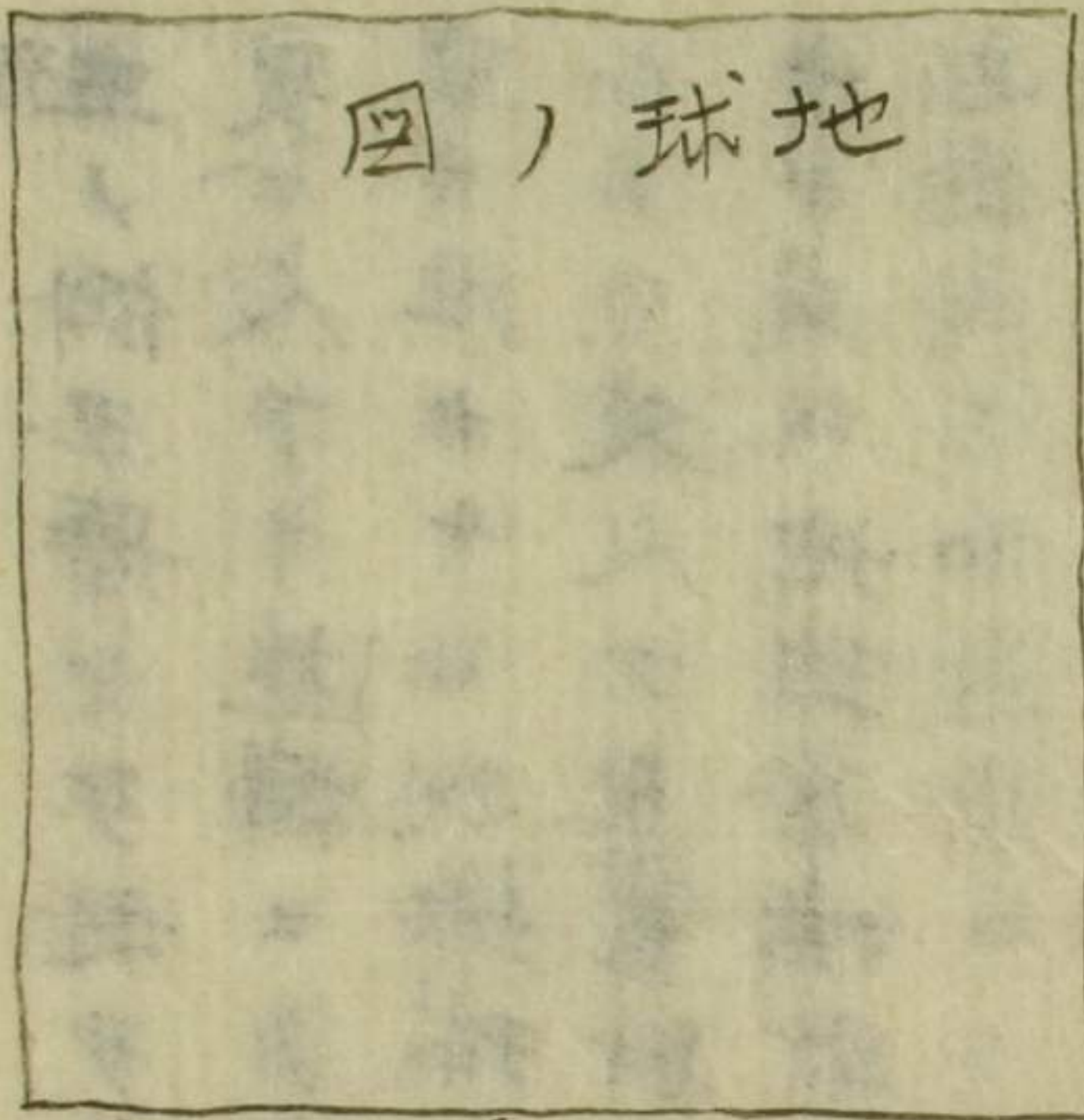
行スルハ宛モ大船<sup>ナル</sup>帆船ノ海上ヲ走ルニ異ナ  
ラス  
男見モ亦小舟ヲ持テ今之<sup>ヲ</sup>池上ニ浮ヘント  
スル所ナリ此舟ニハ二本ノ樯アリ其他三本ノ  
樯ヲ有スル者モ亦之アリ○西洋ニテハ一本ノ  
樯アル舟ヲスルノプロト云ヒ二本ノ樯アル者ヲ  
スクーネルト云ヒ三本ノ樯アル者ヲシップト云  
フ  
此ノ如キ舟<sup>ハ之ヲ</sup>帆船ト總稱スミテ帆船ト云フ帆

ノ為ニ進行スルヲ以テナリ但シ帆ハ厚クシテ  
 鞆ナル布片~~也~~ニテ造ル者ナリ又船上ニアリテ  
 人ノ舵ヲ動カシ或ハ遠遙ヘキ部分ヲ甲板ト云フト船  
 首ヲ艦ト云ト船尾ヲ舳ト云ト半ハ水中ニ入り  
 テ舳尾ニアル者ヲ舳ト云フ但<sup>此</sup>舳ノ要ハ舳  
 ノ進行スヘキ方向ヲ变换セシムルニ在リ  
 既<sup>第三課</sup>ニ説キタル如ク地球ハ我等ヲシテ棲息セシ  
 ムル為ニ造物主ノ創造シタル者ニシテ<sup>後へ送ル</sup>彼草木

第十三課

美花ヲ用クハ我目ヲ慰マシメ禽鳥ノ好音ヲ  
 スルハ我耳ヲ樂マシメ又廣野アリテ諸穀物ヲ  
 播種スルコトヲ得ルハ食物ヲ收獲セシムル

地球ノ図



為ニテ皆造物主ノ恩恵ニ  
 出ツルモノナリ然ルニ意  
 ヲ茲ニ注キテ<sup>方事ニ</sup>勉強スルト  
 否トニ由リテ衆人ノ中ニ  
 ハ或ハ幸福ヲ得ル<sup>或ハ貧困ニ墮</sup>  
 別ヲ生スル者トス今<sup>教</sup>

個ノ例ヲ擧ケテ之ヲ示サン

爰ニ人アリ遊惰ニノ<sup>時</sup>日ヲ費ヤテ更ニ意ヲ他

事ニ注カサレハ地球ハ唯遊ニ耽ルノ場所トナ

ルノミ又人アリ蓄財ノ外別ニ意ヲ勞スルコト

ナケレハ地球ハ唯財ヲ蓄フルノ場所トナルノ

ミ

其他(一)地球ハ兵卒ニハ如何ナル場所ナリヤ

戦争スヘキ場所(二)寡婦ニハ如何ナル場所ナリ

ヤ~~ノ~~悲ミテ日ヲ送ルヘキ場所(三)農夫ニハ如何

耕糶作スヘキ場処(四)富貴ノ人ニハ如何ノ僕

婢ヲ使役スヘキ場所(五)掘礦人ニハ如何ノ礦物

ヲ掘出スヘキ場所ナルカ如シ

此諸例ノ中遊惰ニノ日ヲ送ル人ハ貧困ニ陥

ルヲ免レズ又蓄財ニノ意ヲ勞スル人ハ吝嗇

ナルヲ免レズ是等ハ決ニテ善行ニアラス凡ク

人タルモノ地球ニ棲息スルノ向<sup>常</sup>能ク意

ヲ万事ニ注キ殊ニ自己ノ職業ヲ勉メテ其身ヲ

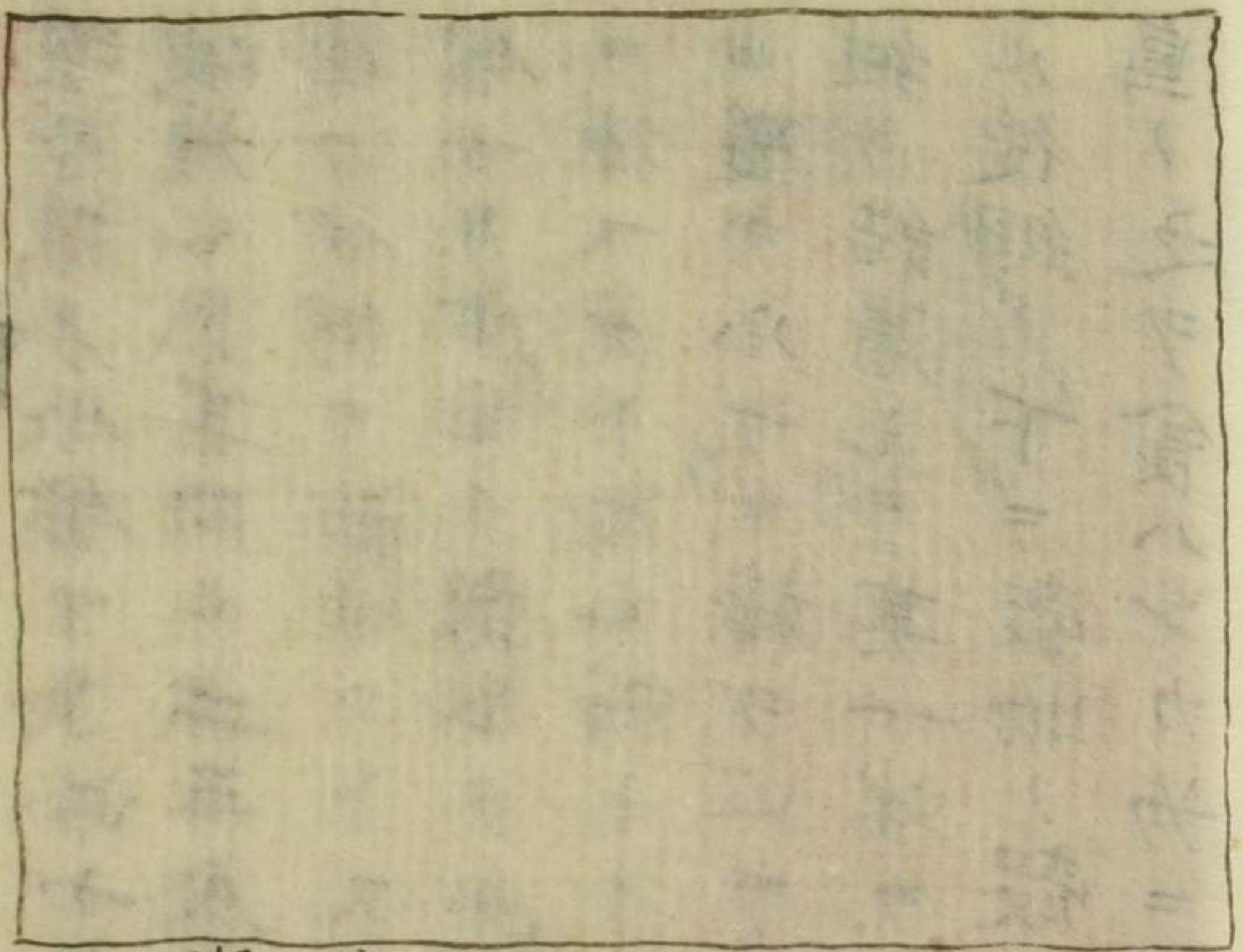
利ニ加之國益ヲ計リテ造物主ノ恩惠ニ報ユル

ニ心ヲ用フヘキモノナリ

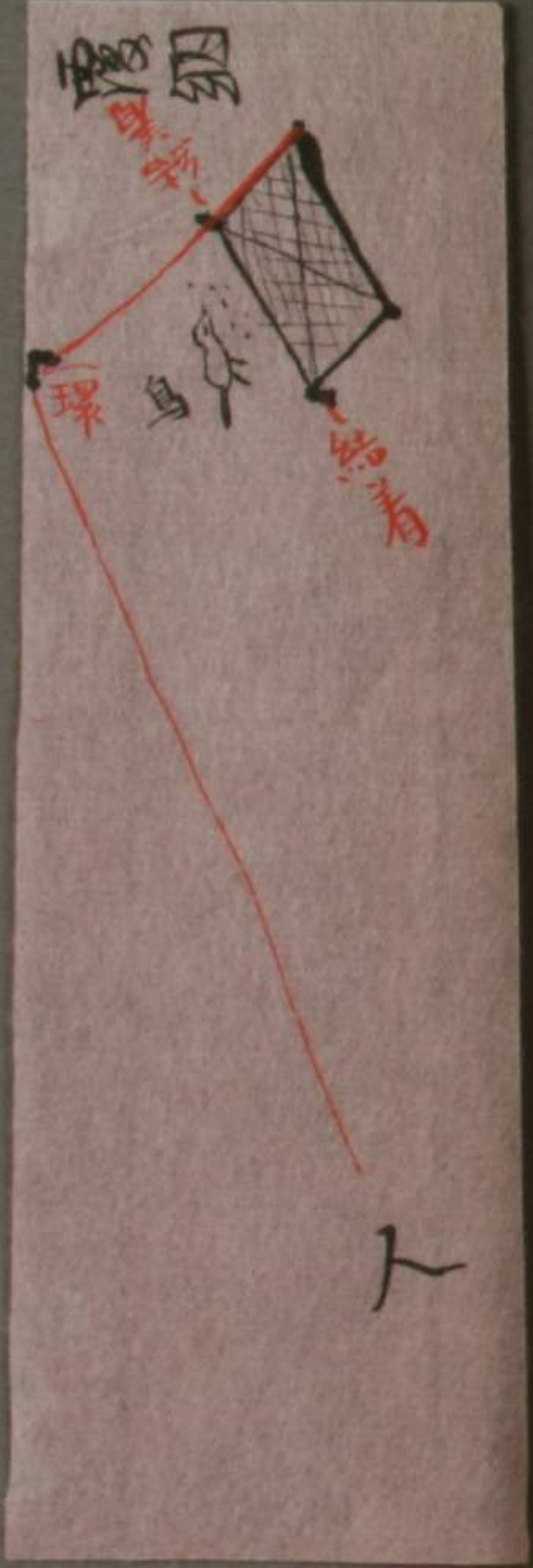
第十二課

前ハ操リ上ケル

季候冬ニ至レハ樹木ノ葉ハ殆ト落チ尽クニ草  
 ハ悉ク枯レ溪河等ノ水ハ凍結シ雪ハ體トシテ地面ヲ  
 覆ト加之カトテ寒風凜冽トシテ殆ト堪ヘ難キコ  
 トアリ○此時ニ及ヘハ人々皆戸ヲ閉チ炬ヲ  
 擁シ又ハ火ヲ焚キ其周囲ニ集リテ寒威ヲ防  
 護スルモノニテ若シ戶外ニ出ルテ行クトキハ  
 更ニ厚キ衣服ヲ着シ襟巻手袋等ヲ用ヒサルヲ



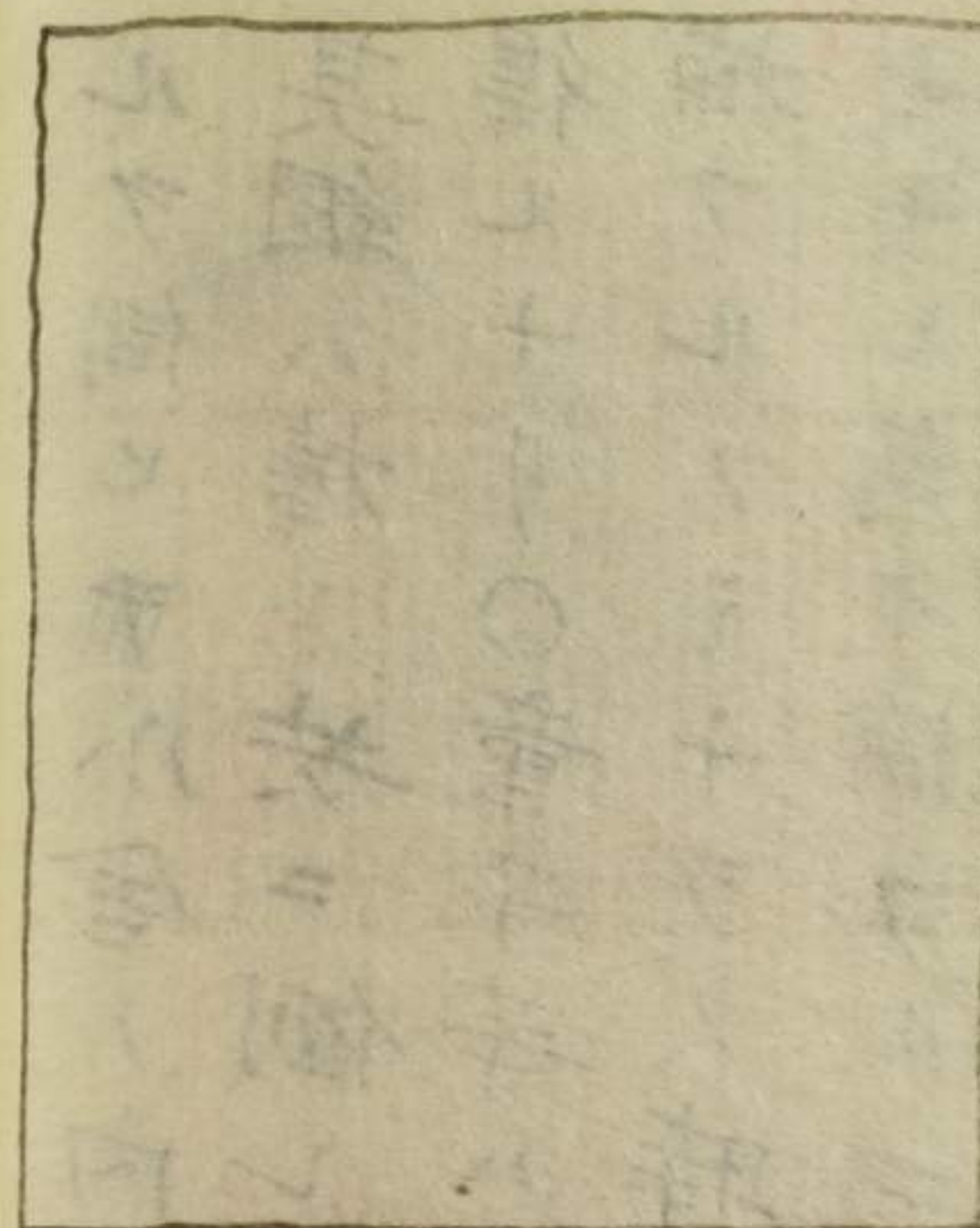
得ス然レトモ時トシテ  
 ハ寒威殊ニ酷冽ニシテ  
 為メニ手足ノ指及ヒ耳  
 ノ凍痛スルニ至ルコト  
 アリ  
 此因ハ冬ノ景色ニシテ  
 滿地雪十ラサルハ十ク  
 甚夕寒クニテ懐ニキ状  
 ナリ○此原野ノ中央ニ



草葎屋根(古キ)ノ小舎アリ此小舎モ亦雪ニ覆ハレ戸口  
 破損シテ其内ニ二三ノ童子居レリ○此童子  
 等ハ今何ヲ為サントスル所ナリヤ○彼等ハ小  
 舎ヨリ少シク離シタル所ニ知ニ網ヲ張リテ禽鳥  
 ヲ捕ヘントスル所ナリ○其法網ノ一端ヲ地面  
 ニ置キ小サキ棒ヲ以テ他端ヲ撐ヘ其棒ニ長キ  
 紐ヲ結着シテ其一端ヲ小舎ノ内ニ導キ置キ然  
 ル後網ノ下ニ穀物ノ殻又ハ種子等ヲ置キテ禽  
 鳥ノ之ヲ食ハンカ為ニ来ルヲ待テ其度ニ適ス

ルヲ伺ヒ所小舎ノ内ナリニテ紐ヲ速ク引キハ  
 其網ハ棒ト共ニ倒レテ鳥ヲ蓋ヒ捕フルコトヲ  
 得ルナリ○童子等ハ此ノ如クニテ屢々小サキ鳥ヲ  
 捕フルノニ十ラズ時トニテハ鳩又ハ鶉ノ如キ  
 大ナル鳥ヲ捕フルコトアリ然レトモ是等ノ鳥  
 ハ小サキ鳥鳥リ狡猾ナル故ニ之ヲ捕フルト甚タ  
 難シ  
 此ハ小舎ノ内ニ居ル童子等ノ外ニ人ヲ見得ル  
 ヤ○然リ小舎ノ右方ニハ楮柴ノ一束ヲ背ニ負

とテ行ケル人アリ又左方ニハ銃ヲ肩ニシテ  
 伴トテ行ケル人アリ其一人ハ樵夫ニシテ一人  
 ハ獵夫十ルヘシ此人等ハ皆雪ヲ踏ミテ行ケルカ  
 故ニ其形体ハ全ク黒ク見ユルナリ



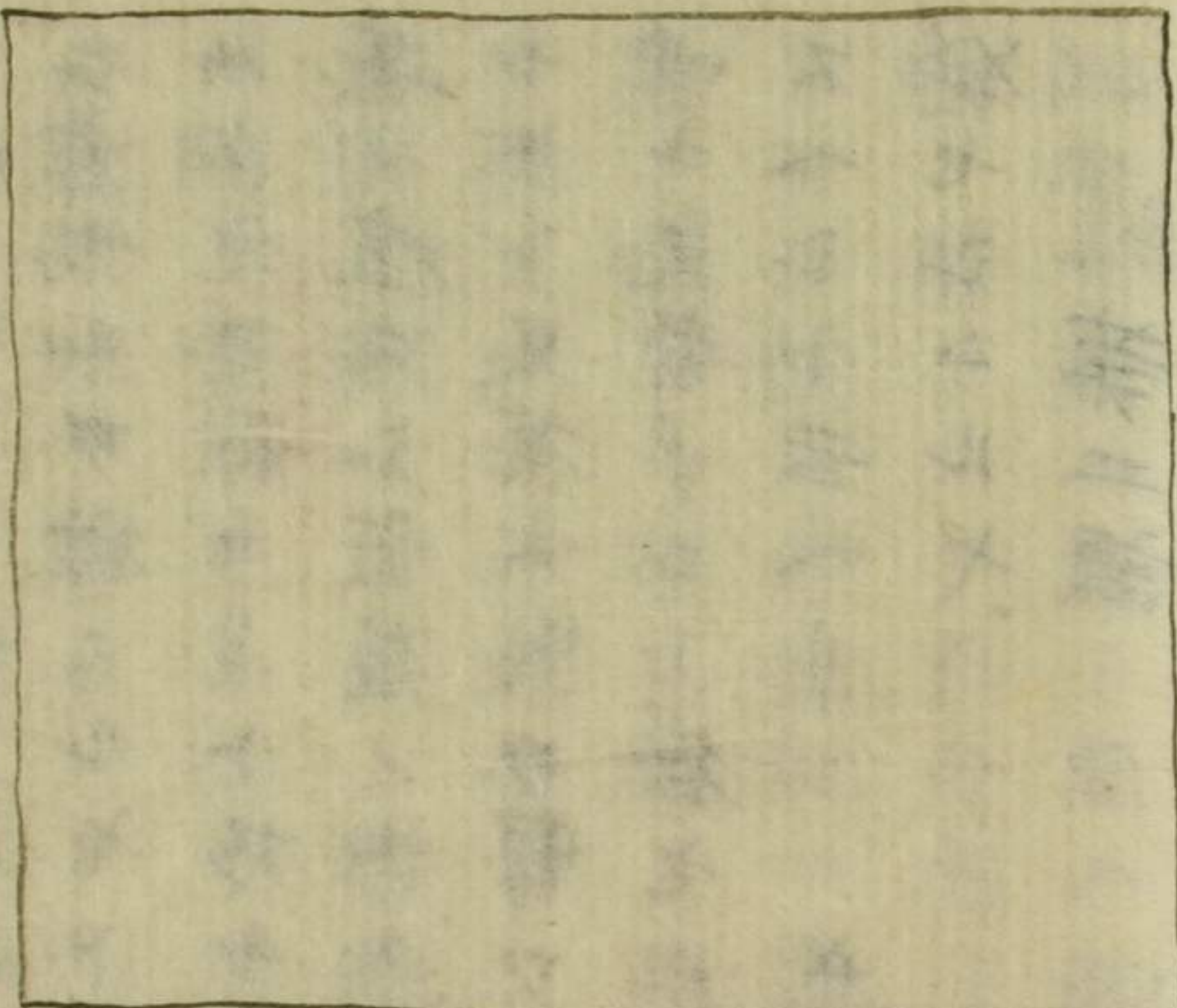
此図モ亦冬ノ景色ニシテ  
 原野ノ中央ニ一堆ノ乾草  
 アリ此乾草ノ上ニハ多量  
 ノ雪積レルノコトラス今  
 尚ホ盛ニ雪ノ降ル所ナリ

○此農夫ハ早朝ヨリ飼犬ヲ伴ヒテ來リ乾草  
 ニ寄セ掛ケタル梯子ヨリ上リテ之ヲ切り落シ  
 把束ト為シテ斬々我家ニ運ビタルトモ暫時ヲ經  
 テ盛ニ雪降り來レルカ故ニ乾草ノ側ニ倚リ  
 テ今之ヲ凌キ居ル所ナリ○此人ノ側ニアル里キ  
 物及其一端ヨリ始マリテ遠方ニ見ユル門ノ如  
 ニ連ナルル数多ノ里班ハ何ナリヤ○其里キ物ハ  
 乾草ノ把束ニシテ其里班ハ此人ノ往返ニ夕  
 ル足跡ナリ

第十三節

第一課

汝ハ此臂掛ノアル椅子ニ腰ヲ掛ケタル人ヲ觀  
舞何歳許ナリト思フヤ○汝ハ其顔ニ影多ク皺  
アルト筋肉ノ瘦セテ骨ノ<sup>露</sup>顯ハレタルト眼ノ陷  
ミタル状トニ由リテ彼ハ最早七十歳以上十  
ヲ知ルヘシ○此人モ一度ハ汝等ノ如ク<sup>如少</sup>如年ニ  
シテ歩ムコト自由ナリシカ今ハ年老テ身体衰



小女ハ祖母ニ向ヒテ

云ク  
<sup>白フ此音</sup>

弱シタル<sup>カ</sup>力故ニ自由申  
キ歩ムコト能ハ行步蹠  
<sup>浪</sup>浪タルノミナラス既ニ  
生活ノ終期ニ近ツキタ  
ルナリ  
汝ハ此老人ノ側ニ居ル  
小女ヲ見タリヤ○彼ハ  
此老人ノ孫娘ナリ○此

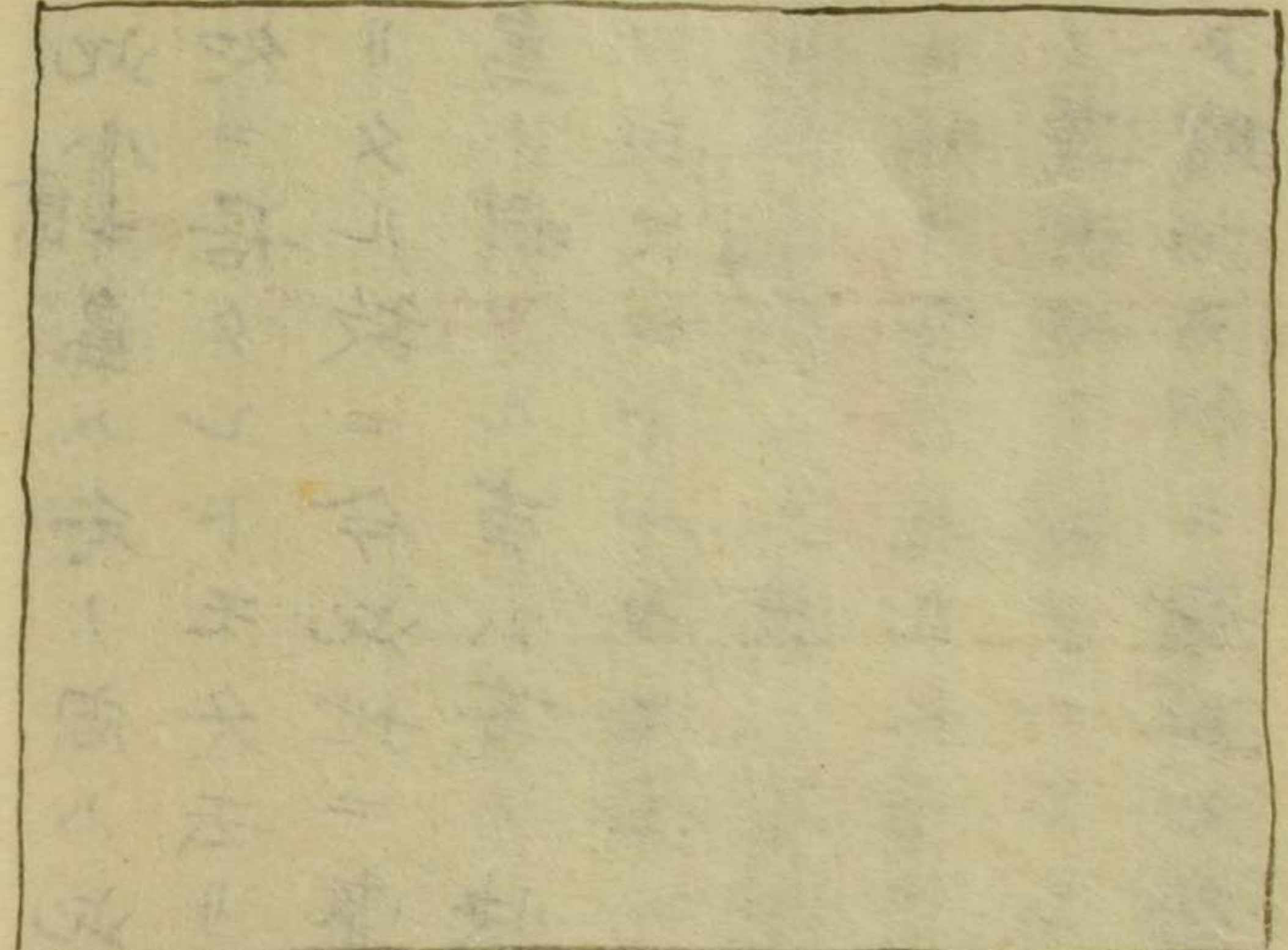


ヲ痛メサルヤ君ハ彼童子ノ此ノ如キ響音ヲ発セ  
シメサルヲ欲スルヤト〇祖母曰ク然リ我吾ハ甚  
々之ヲ欲セリト乃チ彼童子ニ向ヒテ其響音ハ  
甚ク喧スシ家屋ノ内ニ於テ其物ヲ吹クコト十  
カカレ又其太鼓ヲ撃ツコト十カレ汝若シ之ヲ  
吹キ又撃タント欲セハ家屋ノ外ニ出テ之ヲ為  
スヘシト云ヘリ  
△汝ハ何故ニ此ノ如キ響音ヲ  
発セシムルヤ

第二課

此禽鳥ハ冬ノ間ハ此方地ニ居ラスニテ皆他  
処ニ居タレトモ冬去リ春来リテ再ヒ温暖ト十  
リタル故ニ今此地ニ返リ来リタル十リ此  
鳥ノ囀スル声ハ甚ク快シ汝少年等決ニテ此鳥  
ヲ殺スコト十カカレ  
此群テ飛テヘル鳥ハ皆燕ニシテ其数夥ニキカ故  
ニ殆ト空ヲ見ルヘカラサル程十リ彼此鳥ハ去年  
ノ夏此地ニ居タレトモ冬ノ来ル前ニ遠キ南方  
ノ暖地ニ行キ今再ヒ歸リ来リ小屋ノ庇ニ巢

此等ノ鳥ハ皆愛ラニキ鳥十ル故ニ之ヲ殺シ又  
 追フヘカラス○然ルニ悪シキ童子等ハ彼等  
 ニ石ヲ抛擲シテ之ヲ殺サントス○此ノ如キ童  
 子等ニテモ他ノ悪シキ童人ノ已ニ白ヒテ石  
 ヲ抛ウツヲ好マサルヘシ○爰ニ来リタルハ悪  
 シキ童子十リ○此童子ハ今数多ノ相思鵲ニ石  
 ヲ抛ウチタリ○我ハ少クトモ其一羽ニ傷ツ  
 ケタリト思フ○汝ハ何故ニ彼等ヲ殺サント欲  
 スルヤ○汝ハ戶外ニ於テ彼等ノ啼ク声ヲ聞ク



ヲ造リテ其雛ヲ孵ス十  
 リ○此時節ニハ相思鵲  
 モ亦来リテ樹園中ニ多  
 ク集マレリ此鳥ハ毎朝  
 夜々明タルハ直チニ快  
 キ声ヲ出シテ啼ク夕モ  
 ノニ出テ好<sup>其性</sup>林橋ノ  
 樹ニ巢ヲ造ルコトヲ好  
 メリ

コトヲ好マサヤル○否、決ニテ之ヲ好マサルニ  
アラス○然ラハ石ヲ以テ彼等ヲ撃テ殺シ又ハ  
弓矢ヲ用ヒテ射殺スコトナカレ

第三課

此婦人女子ハ第十二節ノ第四、第  
五及ヒ第六課ニ於テ説キタ  
ル情急人ノ妻ナリ○其夫ハ  
常ニ飲酒ニ耽リテ更ニ妻子  
ヲ顧ミサルノコトラス終ニ

竊盜ヲ為シ獄中ニ繋カレテ死シタルホトナレハ  
其家ハ甚々貧乏ニテ食物又ハ金錢等ノ貯蓄ア  
ルコトナシ○是此時其子ハ高幼年ニシテ故ニ其妻ハ止ム唯錢ヲ得ル能ハサル是  
ヲ以テ其妻ハ他人ノ衣服ヲ裁縫シ或ハ洗濯シ

為メニ少許ノ賃錢ヲ得テ僅  
ニ其日ノ生計ヲ營ミ居タレトモ  
其得ル所固ヨリ些少ナレハ  
終ニ粗食タニモ以テ二人ノ  
口ヲ糊スルコト能ハサルニ

至リ止ムヲ得ス手ニ提籠ヲ携ヘテ市街ヲ彷徨  
シ食物又ハ金錢等ヲ乞ヒ偏偏ニ恵恤者ノ扶助ニ  
由リテ僅ニ自己及ヒ其子ノ生命ヲ保保キ居レリ  
○此婦女子若シ知見ナケレハ假令其夫ノ獄死ス  
ルニ逢フモ他人ノ為ニ其役ヲ執リ或ハ他人ノ衣  
服ヲ洗縫シテ自己ノ口ヲ糊スルコトヲ得レト  
モ抑唯其子ヲ餓ヘサラシメントスル愛情ノ切ナル愛情ニ  
由リテ市街ニ物ヲ乞フニ至レルナリ是實ニ愆  
ムヘキコトナラスヤ

凡ソ人衆ノ中ニ右ノ如ク薄命不幸ニシテ貧困ニ陥ルモ  
ノアリ又高運ニシテ富有ナルモノアリ假令高厚厚  
運ニシテ富有ナルモ自由由ノ高運驕驕リテ他人  
ノ貧困ヲ侮ルコトナク且ツ能ク其身ノ分ヲ守リテ  
貧困ナル人ニ逢フトキハ之之ヲ恵恤スヘク又  
親タルモノハ其子ヲ愛スルノ情右ノ如ク切ナ  
ルカ故ニ子タルモノハ之ヲ心ニ銘ニテ常常其厚  
恩ヲ報セサルヘカラサルナリ

第四課

汝一時憤怒ニ由テリ少年ヲ捕ヘ苦ムルハ奇怪不當

十リ。何トナレハ彼假令不  
直事ヲ為シタリトモ汝ハ  
既ニ腕カラ以テ彼ヲ懲ラ  
スヘキ年齢ニアラス且ツ  
此ノ如キハ概決シテ彼ヲ  
所置スヘキ道ニアラサレ  
ハ十リ。速ニ其手ヲ放チ  
彼ヲ赦シテ汝ノ年齢ニ羞

サル所置ヲ為スヘシ。○汝ハ嚮ニ此少年ヲ捕  
弟十リト云ハサリシヤ果シテ捕ハ弟十ラハ彼  
ノ為ニ不直ヲ為シタリル時ニ當リ彼ニ向ヒ  
テ其過誤ノ点ヲ指示シテ懲ニ其不直ナルヲ示シ  
且ツ若シ之ヲ改メサレバ其身ニ悲歎ヲ来ス  
ヘキコトヲ諭スヘシ決シテ彼ニ對シテ怒心  
ヲ起スカ如キ所業ヲ為スヘカラス○汝ハ腕カ  
ラ以テ其弟ヲ懲ラストキハ其心ヲ以テ益々惡  
カラシムルノ理ヲ知ラサルヤ是彼ヲ以テ其心ヲ

汝一時憤怒ニ由テリ少年ヲ捕ヘ苦ムルハ奇怪不當

十リ。何トナレハ彼假令不直事ヲ為シタリトモ汝ハ既ニ腕カラ以テ彼ヲ懲ラスヘキ年齢ニアラス且ツ此ノ如キハ概決シテ彼ヲ所置スヘキ道ニアラサレハ十リ。速ニ其手ヲ放ク彼ヲ赦シテ汝ノ年齢ニ羞

サル所置ヲ為スヘシ。○汝ハ嚮ニ此少年ヲ弟十リト云ハサリシヤ果シテ弟十ラハ彼ノ為ニ不直ヲ為シタリル時ニ當リ彼ニ向ヒテ其過誤ノ点ヲ指示シテ怒ニ其不直ナルヲ示シ且ツ若シ之ヲ改メサレバ其身ニ悲歎ヲ来スヘキコトヲ諭スヘシ決シテ彼ニ對シテ怒心ヲ起スカ如キ所業ヲ為スヘカラス○汝ハ腕カラ以テ其弟ヲ懲ラストキハ其心ヲ益々惡カラシムルノ理ヲ知ラサルヤ是彼ヲシテ其心ヲ

悔悟  
改~~良~~セシムヘキ道ニアラス。且ツ正ニキ所置  
ニアラサルナ<sup>ハ</sup>汝ハ其身ノ恥辱トナルヘキコ  
トヲ辨ヘサルヤ若シ之ヲ辨~~ス~~ル<sup>ハ</sup>ハ彼ニ向  
ヒテ右ノ如キ所置ヲ為スコトヲ羞サルヘカラ  
ス (悪シキ)

第五課

凡ツ人タル措モノ終日其職業ヲ為ストキハ必  
ス倦怠ノ心ヲ生<sup>ス</sup>キ<sup>ハ</sup>又終日遊嬉ヲ為セハ必  
ズ漸次ニ其興味<sup>ハ</sup>減<sup>ス</sup>ル<sup>ハ</sup>故ニ汝其職業ニ費

ノ因  
職業ヲ勉強スル

職業ヲ為シテ  
ハ<sup>ハ</sup>樂ム<sup>ル</sup>因

ヤスヘキ時間ニハ勉メテ  
之ヲ為シ然ル後心ヲ慰樂ニ  
轉<sup>ス</sup>ル<sup>ハ</sup>ハ終日遊嬉スルト  
キヨリ更ニ愉快ヲ覺フヘ  
シ。汝ハ<sup>キ</sup>毎<sup>日</sup>働クヘキ時  
間ニハ其職業ヲ勉メテ怠  
惰ノ童子ト<sup>成</sup>ル<sup>コト</sup>勿レ  
怠惰ノ童子ハ<sup>大</sup>悪<sup>シ</sup>キ童子  
ト<sup>成</sup>リ<sup>悪</sup>シ<sup>キ</sup>童子ハ大抵

生長ニテ悪ニキ人ト成ルヘケレハナリ

此理ニ由リテ考フルニ終身幸福ヲ受ケント欲

セハ善キ行ヲ為サハルヘカラス是故ニ善キ童

子ハ常ニ幸福ヲ受ケテ愉快ナレトモ悪ニキ童

子ハ之ト相反ス何トナレハ其行悪ニキトキハ

随テ其身ヲ煩ハス事アリテ始終其心ヲ离

レサレハナリ

夫レ事ヲ為サントスルヤ其全ク成ルニ至ル

ノ向ハ心ヲ他事ニ注カサルヲ要ス乃チ汝若シ

為スヘキ職業アラハ勉メテ之ニ従事シ以テ速

ニ其業ヲ終フヘク又學フヘキ書物アラハ興解

シ難キ條アリトモ之ヲ興解スルコトナク勉

勉ニテ讀ミ了ルニ至ルヘシ

第六課

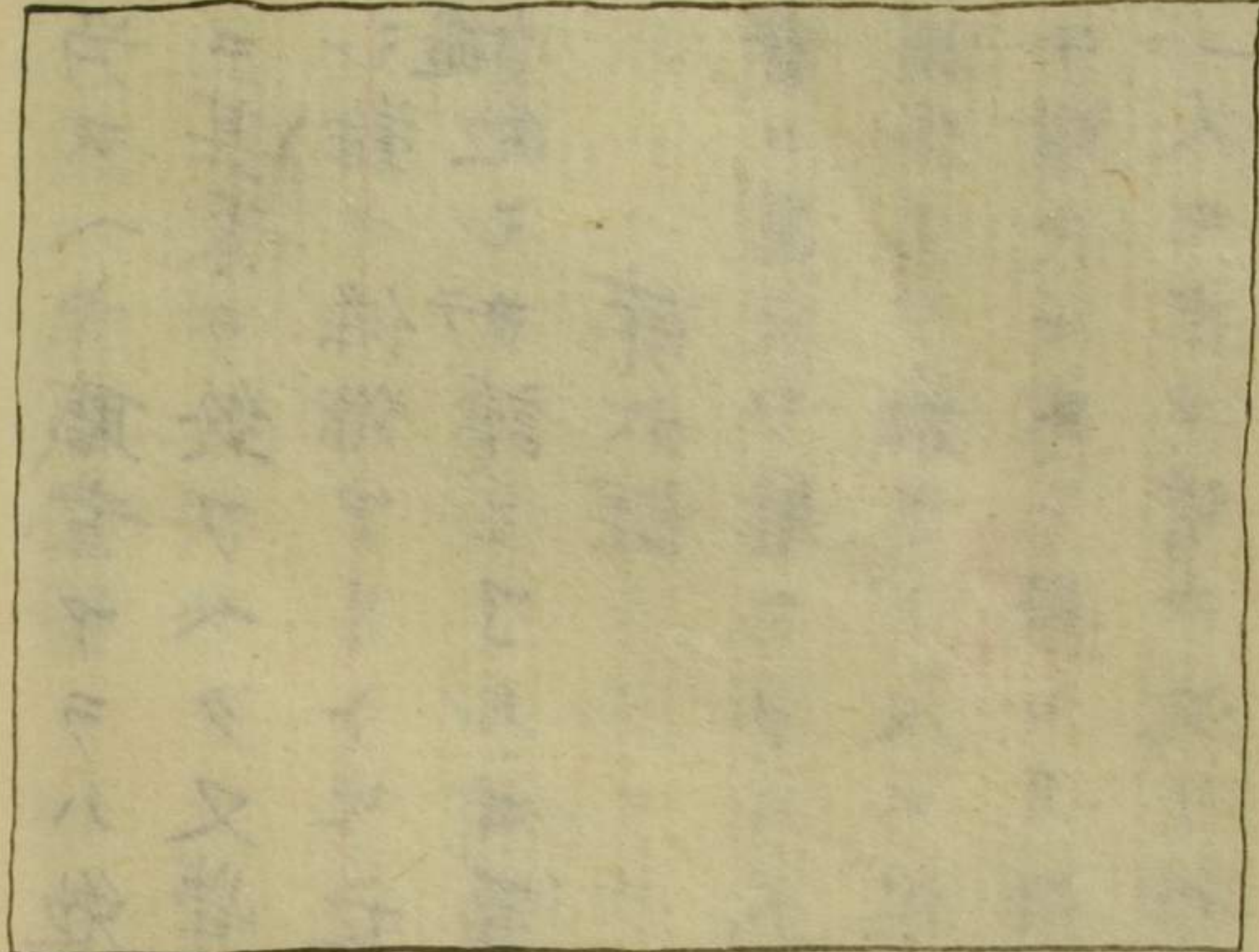
爰ニ美服ヲ着ミタル人アリ此人數多ク金銭ヲ

取出シテ數多ク人ニ示セルニ其人々ハ之ヲ見

テ皆大ニ感<sup>服</sup>レリ何トナレハ彼等ハ其中ノ

一人モ未ダ曾テ此ノ如ク數多ク金銭ヲ所持シ





タルコトナケレハナリ  
 此富ニタル人ハ修業ノ  
 為ナ曾テ我家ヲ出テ印  
 刷所ニ入リ数年ノ間其  
 処ニ於テ刻苦勉勵シ印  
 刷ニ関スル諸事ニ熟達  
 シタルノコトラス尚其  
 其間數多ク金錢ヲ得テ今家  
 ニ歸リ之ヲ多ク人ニ示セル  
 ナリ

此人彼等ニ向ヒテ曰フ我カ所持スル金錢ハ皆  
 我業ヲ勉勵シテ得タル者又我カ衣服ハ此金錢  
 ヲ以テ買ヒ得タル者ナルニハ我ハ今尚怠惰ニ  
 時間ヲ費ヤシ又無益ニ金錢ヲ費ヤスコトヲ欲  
 セサルナリ

汝等モ亦其職業ヲ勉勵スルトキハ亦同シク金錢  
 ヲ得テ美麗ナル衣服ヲ買フコト隨意タル得ヘシ然レ  
 トモ汝等懶惰ナリ決シテ之ヲ無益ニ費ヤシ又金  
 錢アリトテ人ニ驕ルコト勿レ是愚ニシテ且ツ惡シ

キコトナレハナリ

割註

金錢即チ貨幣ノ最要ナル也。第七節ノ第十五  
課ニ記シタル如シ衣服及チ食物等ヲ購求シテ  
自己ノ用ヲ給シ。又貧人ニ施與シテ衣服、食物  
及チ薪炭等ヲ購求セシメ以テ饑渴凍死ノ患難  
ヲ助救スルニ要用ノ者タリ故ニ人若シ之ヲ流  
用セシナス愛惜貯蓄シテ其富有ヲ驕ルカ如キ  
ハ愚ル極ニシテ理ニ戾ルト云ハフニ蓋シ金錢  
ハ其用方ニ由リテ或ハ善ノ資本ト成リ或ハ惡

ノ資本ト成ル者ニシテ人ノ善事ヲ為シ又惡事  
ヲ為スモ大抵之ニ起因セサルハナシ例即チ勉  
強<sup>ノ為メ</sup>數多ノ金錢ヲ得其有餘ヲ以テ貧人ニ  
施スカ如キハ善ヲ為ス資ト成ルノ證ニシテ急  
情ノ為メ僅々ノ金錢ヲモ得ルコト能ハス其  
終ニ盜心ヲ生スルカ如キハ惡ヲ為ス資ト成  
ル例ナリ人タルモノ常ニ宜シク意ヲ爰ニ注ク  
ヘキナリ  
△各ニシテ更ニ

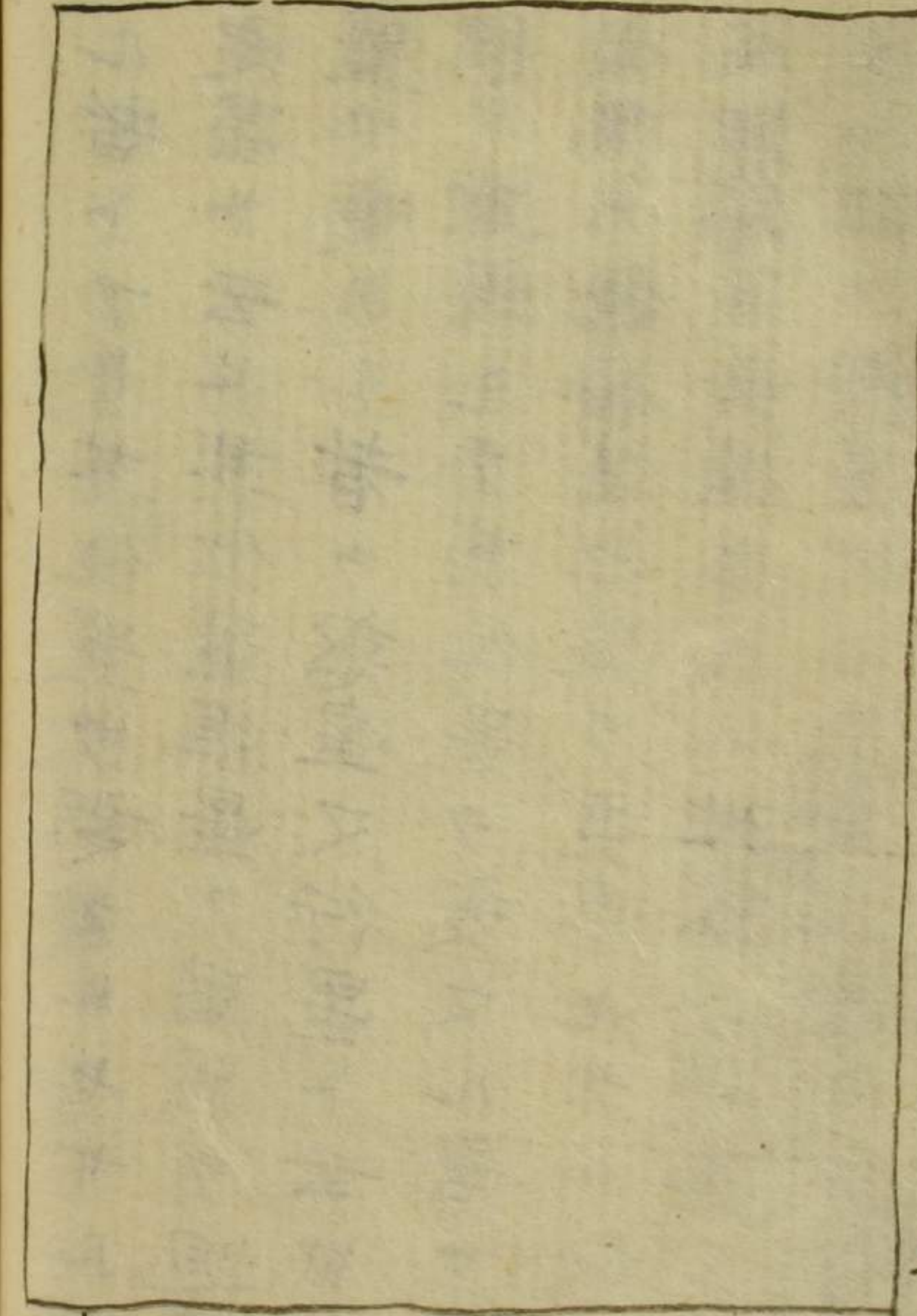
第七課

天上ニ森羅セル衆星ハ皆<sup>(大陽)</sup>地面ヲ照ス<sup>(間ハ)</sup>能ハス<sup>(大陽)</sup>其<sup>(大陽)</sup>後始テ之ヲ見ルコトヲ得然レ凡<sup>(深)</sup>中<sup>(洞)</sup>穴又ハ井中ニ下リテ天上ヲ窺ヘハ其周囲暗キ故ニ<sup>(中)</sup>昼間ニテモ<sup>(高)</sup>之ヲ見ルコトヲ覺得ルナリ

星ハ<sup>(皆)</sup>我地球ヲ距ルコト甚夕遠キ故ニ<sup>(皆)</sup>光輝アル卅小点ノ如ク見ユレトモ<sup>(之ヲ見ル)</sup>其實ハ大抵地球ヨリ大ナル者ナリ又星<sup>(之ヲ見ル)</sup>其大小同一ナラサルノコトラス<sup>(或)</sup>其位置ヲ変スル者ト<sup>(或)</sup>變セザ

ル者トアリ其位置ヲ變ナルセザル者ヲ恒星又定星ト云ヒ其位置恒星ノ周囲ヲ廻轉シテ其位置ヲ變スル者ヲ惑星又行星ト云ヒ<sup>(或)</sup>惑星ノ周囲ヲ廻轉シテ其位置ヲ變スル者ヲ<sup>(又)</sup>衛星ト云フ大陽ハ終始其位置ヲ變易セザル故ニ<sup>(又)</sup>恒星タリ又地球ハ我住居スル地球ハ大陽ノ周囲ヲ廻轉スル故ニ<sup>(或)</sup>惑星ニシテ<sup>(夜間)</sup>我地球ヲ照シ<sup>(夜間)</sup>我地球ヲ照シ<sup>(夜間)</sup>其周囲ヲ廻轉スル故ニ<sup>(或)</sup>衛星ナリ<sup>(之)</sup>因テ考フルニ他ノ恒星モ<sup>(或)</sup>惟モ我大陽ノ我地球ヲ有スル

カ如ク各自其周囲ニ惑星ヲ有スル十ルヘシ  
大陽ニ属スル所ノ惑星中大十ル者七個ナリ即



水星金星  
火星木星土  
星天王星及  
ヒ海王星是  
十リ地球モ  
亦惑星十ル  
故之ヲ加ヘ

テ八個トス此諸惑星ハ各自固有ノ軌道アリ  
一定ノ時間ヲ以テ之ヲ廻轉シ又一定ノ時間ヲ  
以テ其樞軸ヲ旋回ス

惑星ニハ皆右ノキ如ニ動アリ其軌道ヲ廻轉ス  
ル<sup>時間</sup>一年ニシテ之ヲ公轉ト云ヒ其樞軸ヲ旋回  
スル<sup>時間</sup>一日ニシテ之ヲ私轉ト云フ然レハ衛星

ニハ皆必ス三動アリ其一樞軸ヲ旋回スルノ動  
其二<sup>惑</sup>星即チ主星ヲ廻轉スルノ動其三主星ト  
共ニ大陽ヲ廻轉スルノ動是十リ即チ我月ノ如

キハ此三動ヲ為スモノタリ

惑星ハ西方ニ現ルルコト、東方ニ現ルル

コト、アリ今世人ノ常ニ見ル所ノ者モ皆ケレ

キ其光火ノ如ク赤キ者ハ火星ナリ又作ニ曉星

或ハ宵星ト稱スル者ハ金星ナリ

其遠近ニ依テ

惑星ノ中大陽ニ遠キ者ト近キ者トアリ今之ヲ

序列セシニ其最モ大陽ニ近キ者ハ水星ナリ之

ニ次テ大陽ヲ距ル者ハ金星ニテ作ニ曉星或

ハ宵星ト稱ス之ニ次ク者ハ火星ニテ其

光火ノ如ク赤シ之ニ次ク者ハ木星ナリ其他土

星、天王星、海星、王ト次第ニ遠ク大陽ヲ距ルモノ

ナリ此惑星ノ中水、金ノ二星ハ地球<sup>ヨリモ</sup>大陽ニ

近ク他ノ諸星ハ皆大陽ニ遠シ又其大小ヲ概言

セシニ大十ルハ木、土ノ二星ハ十ルハ水、火、金

ノ三星ニテ他ノ二星ハ其中間ニ位スルモノ

ナリ

恒星モ亦各自固有ノ名アリ此恒星ノ聚マ刻々

ル者ヲ数個多ノ簇ニ分テ星宿ト云フ星宿中著

名十儿者ハ大熊星、小熊星及ヒ鵠星等ナリ又北極星ト稱スル一ノ恒星此恒星ハ天ノ正北ニ現出コテ更ニ其位置ヲ変スルコトナシ故ニ方位ヲ指示スヘキ磁石創見ヲ用テ航海ノ船舶皆此星ヲ標的ト為シテ其進路ヲト定メタルナリ

### 第八課

凡フ人ハ始終曠漠タル原野ニ於テ生活スルコト能ハス故ニ各自应分ノ家屋ヲ造リ其中ニ住ム

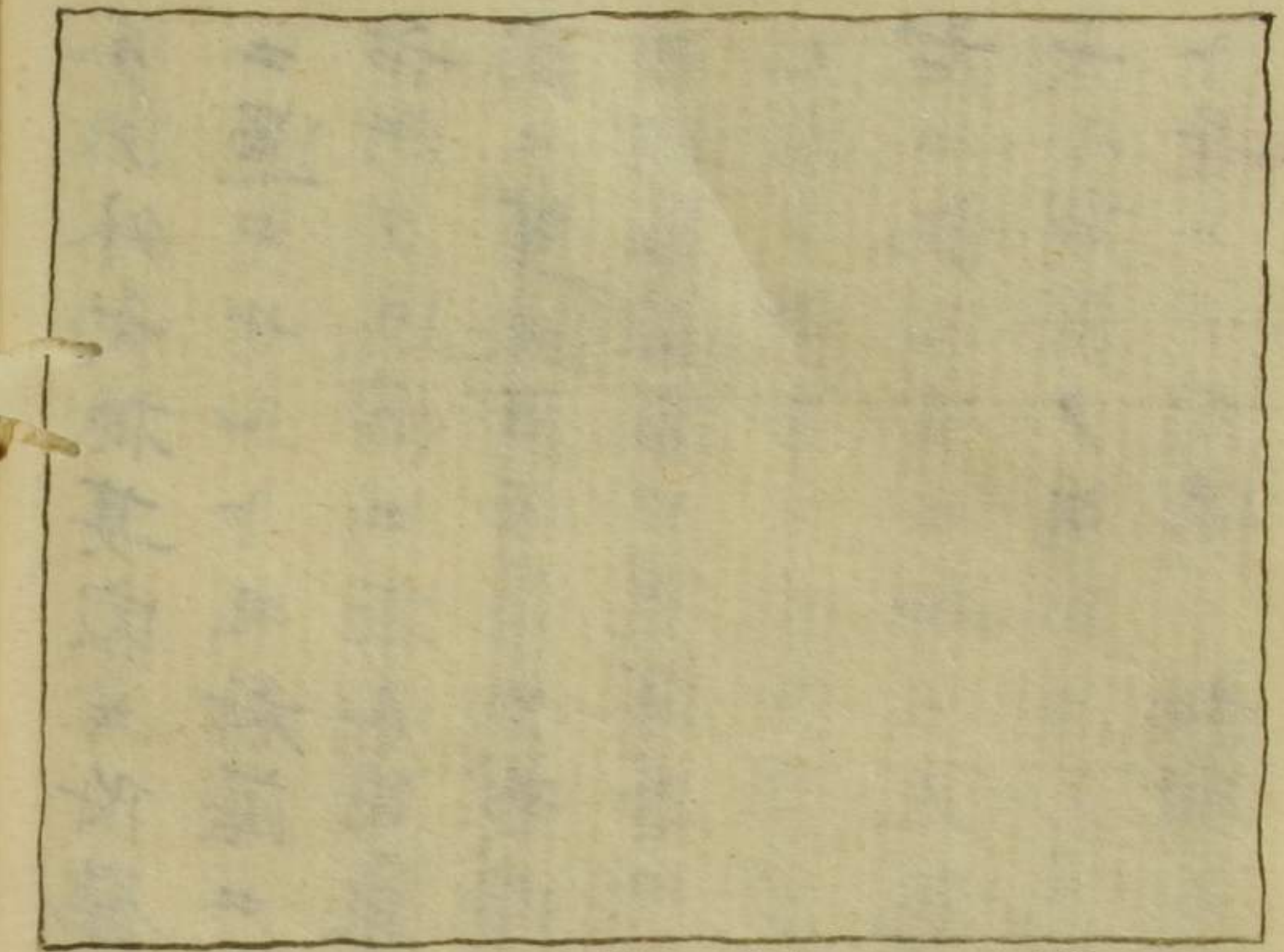
モノニシテ其之ヲ造ルニ木ヲ用ヒル者ト煉石ヲ用ヒル者ト石ヲ用ヒル者トアリ然レトモ數地方ニ由リテハ粘土ヲ以テ造リタル小舎ニ住ムモノアリ或ハ天幕ヲ張リテ其中ニ住ムモノアリ或ハ穴居スルモノアリ

雨雪等ヲ防クヘキ家根ト

家ニハ大概其前後兩側ニ壁アリ且ワ必ズ窓トテ窓トテ口トアリ而シテ窓トテ其窓孔ト戸口トヲ塞ク人ノ入出スヘキ戸ニテ其窓孔ト戸口トヲ塞クニ或ハ木障ヲ用ヒル者アリ或ハ玻璃障ヲ用ヒル者アリ

ルモノアリ或ハ紙障ヲ用ルモノアリ  
家ニハ大十ル者アリ小十ル者アリ加二層三層ヨリ  
層申リ四層五層ニ及フ者アリ此ノ如ク造リタ  
ル家ニ於テハ但シ其層ノ多少ニ從ヒ必ス段階  
ヲ設ケテ昇降スルニ供フ又家屋ノ内ヲ區劃シテ數  
室ト為ス但シ室ニモ廣キ者ト狭キ者トアリテ各其  
用ヲ異ニス即チ客室、居室、食室、寢室及ヒ厨室等  
ナリ  
△木或ハ石ノ  
市街ニ住スル人民ハ貴族ト富ミタル者トテ除

クノ外大抵其家ニ附屬セル僅少ノ庭地ヲ有スル  
ニ過キサレトモ村落ニ散居スル人民ノ家屋又ハ  
市街ノ近傍ニ在ル富豪ノ住家等ノ如クハ其周  
圍ニ草木果實等ヲ栽培スル花園ト甘藷、葱、豆  
菜、胡蘿蔔及ヒ蕪菁等ヲ種收納スル菜園ヲト具フ  
ルモノナリ  
右ニ記シタル如ク人民ノ住居スヘキ家屋ニハ  
大小廣狭ノ差別アルノ外其事ヲ構造スルニ彼  
ト是トノ間遠ク相距ルモノアリ或ハ彼是相櫛



比スルモノアリ而シテ  
 其家屋ノ各知ニ散在ニ  
 テ一群ヲ為スモノヲ小  
 村落ト<sup>云</sup>其家屋人口ノ  
 数稍多キモノヲ大村落  
 ト<sup>云</sup>又家屋櫛比ニテ人  
 口ノ稠密ナル地ヲ市街  
 ト<sup>云</sup>市街ニモ亦大小ア  
 ルモノニテ各国皆其一

大市街ヲ以テ首府トス即チ我國<sup>邦</sup>ニ於テハ東京  
 ヲ以テ首府トシ英國ニ於テハ龍動、米國ニ於テ  
 ハ華盛頓ヲ以テ各其首府ト為スカ如シ  
 地各國其開化ノ度各相同シカラサル故ニ家屋  
 ノ<sup>造</sup>構ヨリ其他諸般ノ備事ニ至ルマテ皆<sup>後</sup>テ  
 相異ナリ即チ開化ノ國ニ於テハ市街及ヒ大村  
 落ノ道路並ニ家屋ノ内ヲ照ス<sup>大</sup>概<sup>概</sup>気燈ヲ用ヒ半  
 前ノ國ニ於テハ油燈ヲ用<sup>レ</sup>氏未開ノ國ニ於  
 テハ全<sup>多</sup>設置<sup>多</sup>十キニ由リテ其道路ハ夜ニ至シハ



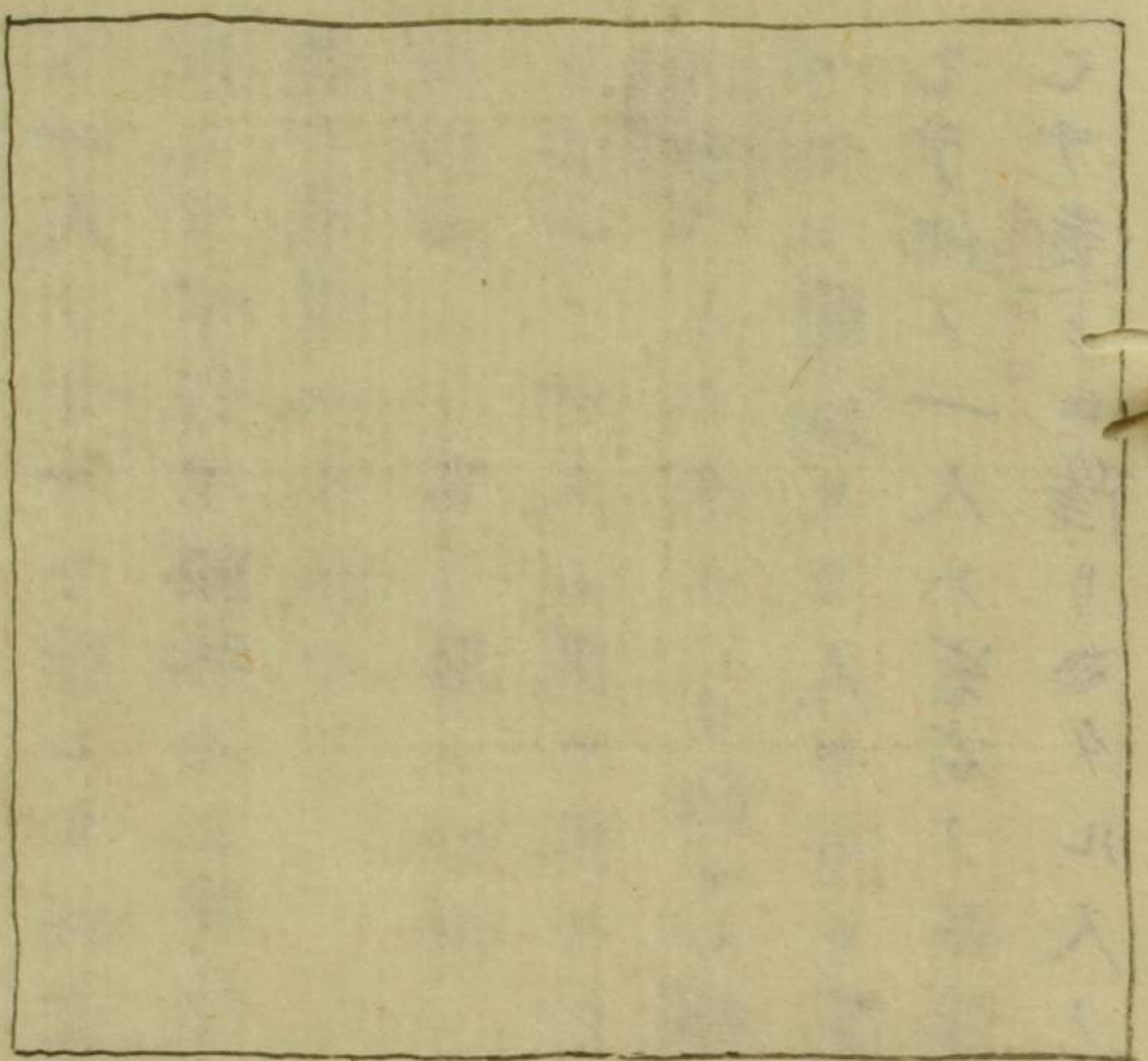
暗黒寂寥ナリ又開化ノ国ニ於テハ市街ノ道路  
其傍ニ石或ハ煉石ヲ敷キテ平坦ナラシメ  
其中央ヲ車馬ノ通路ト為シ其兩側ヲ徒歩ノ行路  
ト為シトモ未開ノ国ニ於テハ此工事アルコト  
ナシ

第九課

童子等ハ諸種ノ遊戯ヲ為スノ外鳥類ノ卵ヲ取  
ルコトヲ甚ク好ム或ハ舎ノ傍  
或ハ牧場ニ生  
ル雑草ノ中或ハ生墻ノ中或ハ森林  
中ニ

造リタル巢ヲ搜出シテ其卵ヲ取ルモノナリ  
此ノ如キ場処ニ巢ヲ造ル鳥ヲ搜出シ又其中ノ卵  
ヲ取ルコトハ甚ク容易ニテ危キコトナケレ  
トモ或ル鳥類ニ於テハ其巢ヲ搜出スルコト難  
又其卵ヲ得ルコト難キ且ツナラズ尚甚ク危キ  
モノナリ  
汝ハ曾テ鴨類ノ卵ヲ見タリヤ○汝ハ家鴨ノ卵  
ヲ見タルコトアルヘシ○家鴨ノ卵ヲ得ルコトハ  
雞ノ卵ヲ取ル如ク容易ナリ然レトモ汝野鴨ハ

如何十儿処 = 卵ヲ生ムト想フヤ小舎ノ周囲ニ  
 毛非ス又花園ノ中ニモ非サルヘシ但蓋野鴨ハ  
 多分池中ニ生長セル水草湖濱或ハ海岸ニ住  
 ムカ故ニ或ハ池中ニ生長セル水草ノ中或ハ海  
 岸ニ在ル岩石ノ割罅ニ卵ヲ生ズリ  
 若シ水面ヲ距ルコト甚ク高クシテ且ツ峻シキ  
 岩石ノ罅隙ニ卵ノアルトキハ如何シテ其卵  
 フ得ヘシト想フヤ○汝ハ其岩石ノ罅隙ニ登  
 ルコト能ハサルヘク強テ之ニ登ラントスルハ



必ス崖中ヨリ轉落  
 シテ死傷スルニ至  
 ルヘシ  
 此國ハ海岸ノ峻シ  
 キ岩石ノ罅隙ニ在  
 ル野鴨ノ卵ヲ取ル  
 状ヲ示者者ナリナ  
 此処ハ岩石ノ頂上  
 ニシテ五人ノ男子

ト一人ノ女子ト居シリ此女子ハ岩石ノ前端ニ  
伏シテ下方ヲ臨瞰セル男子ノ滑リ落サルヤヲ  
恐レ氣遣ヘル状ナリ

汝此五人ノ男子等ハ如何ニテ卵ヲ取ルト思フ

ヤ其中ノ四人ハ因ニ示セル如ク岩石ノ前端ニ

リ垂下セル太クシテ靱ナル綱ノ上端ヲ保持シテ其

下端ニ繫拘セル人ヲ滑リ落チサラシムル所ニ

シテ他ノ一人ハ岩石ノ前端ニ伏シ下方ヲ臨視

シテ遠ク降リタル人ノ働ケル状ヲ四人ニ

告ケ且ツ其狀ヲ保テ

綱ヲ縮ムヘキヤ又

ハスヘキヤノ加

減ヲ彼等ニ知ラ

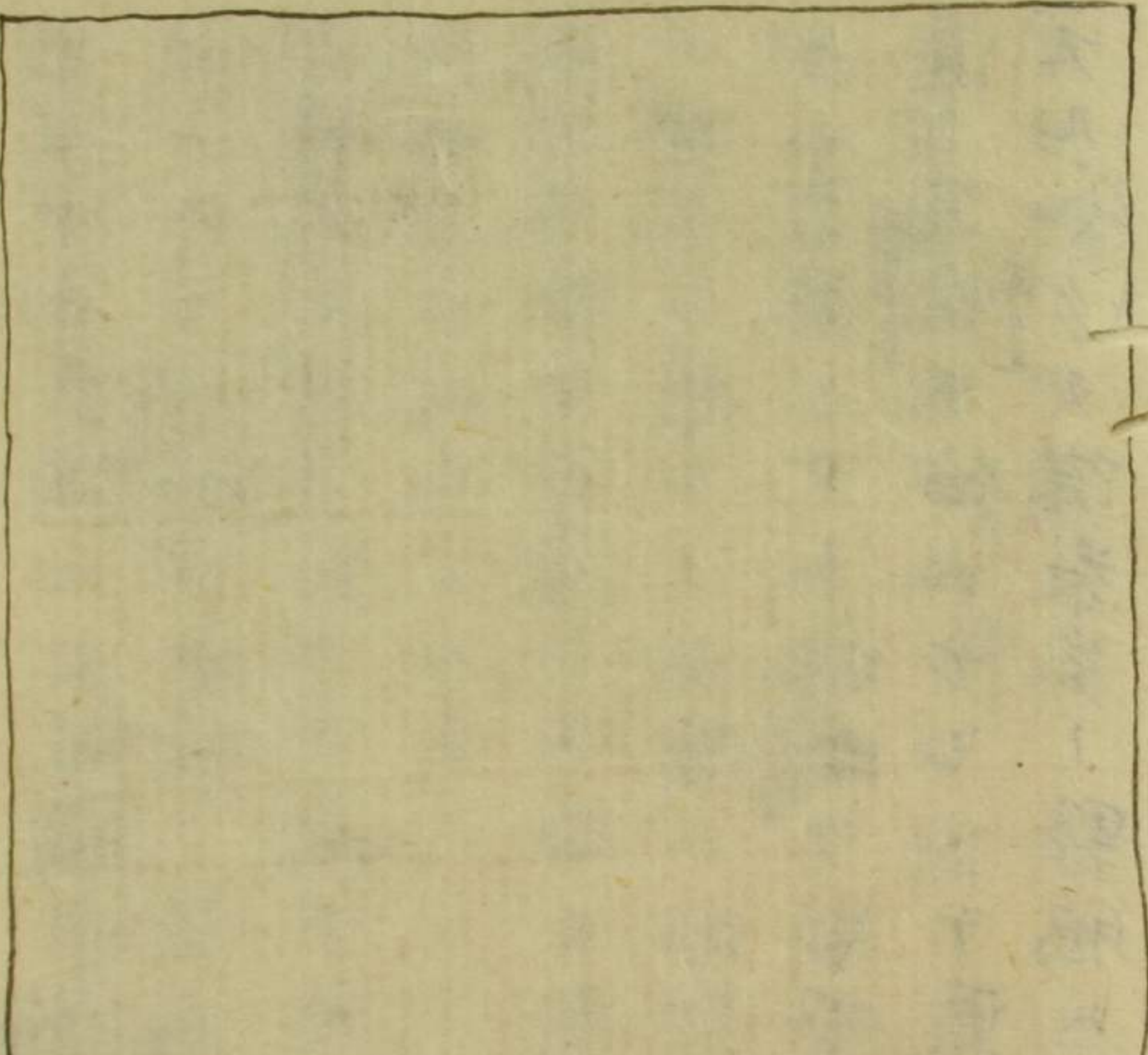
シムル所ナリ

此綱ノ下端ニ拍撃

シテ遠ク降リタル

人ハ車野鴨ノ卵ニ在ル

中ト至ルハ眩目不



中ト至ルハ眩目不

九状十才其携へタル鉤子（撃シク）岩石ノ窟隙ニ挫ケ  
之ヲ曳キ（其身）体ヲ岩石ノ方ニ（無）近（此）其処ニ在ル  
野鴨ノ卵ヲ取りテ之ヲ其腰ノ周圍ニ（繫）着セ  
ル袋中ニ入ル、ナリ

此卵ヲ取レル人ノ下方ニ在ル岩石上ニ尚敷多  
ノ卵アリ然レトモ彼ハ此処ニ居リテ手ヲ其卵ニ届  
カシムル能ハサル故（其音）ニラ岩石ノ頂上ニ居ル人ニ  
通シ其繩ヲ伸ハシメテ更ニ之ヲ取ルナリ此ノ  
スル如ク（係）際敷多ノ野鴨ハ其卵ヲ奪ハル、コ

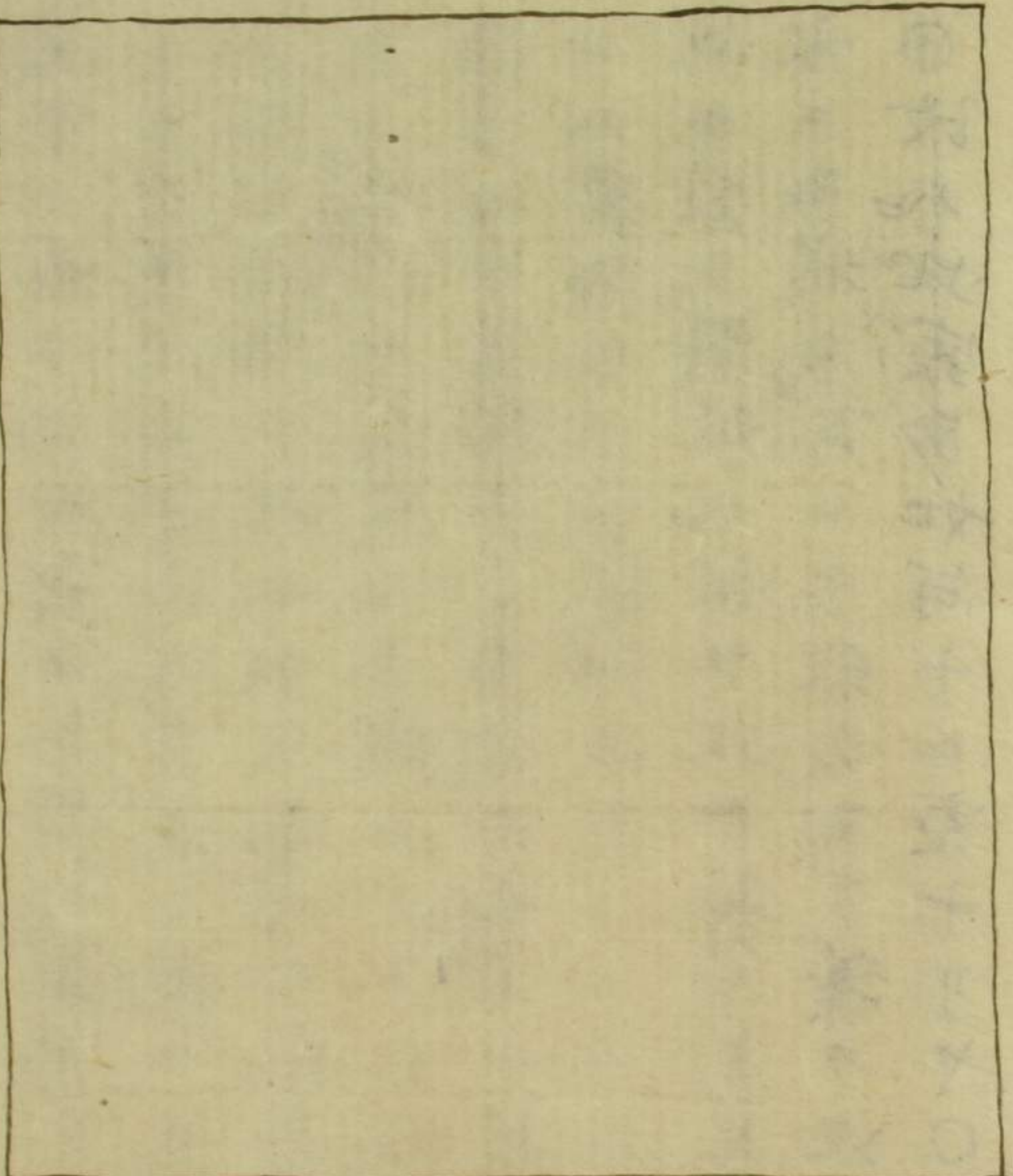
トヲ悲ミテ或ハ彼ノ顔ニ近（ツキ）カキ其翼ヲ鼓シ或  
ハ其耳ノ側ニ（乗）叫ビテ彼ヲ退ケントスル故ニ  
彼ハ其甚シク近（ツキ）キタル者四羽ヲ捕ヘテ其腰  
ニ繫縛セルナリ斯クテ全ク

此如クミテ其卵ヲ取り終レハ岩上ノ人ニ其  
繩ヲ曳キ上ケシメテ共ニ其卵ヲ持テ歸ルナリ  
童子等ハ鳥糞ノ卵ヲ取ルコトヲ好（好ム）トモ（モ）捕（獲）截  
トナレトモ野鴨ノ卵ヲ取ル如キコトヲ為スヘ  
カラス何トナレハ其（甚）之ヲ為スノ際若シ過アレ

ハ死傷スルニ至ルコトアレハナリ

第十課

コレハ如何ナル場所ナリヤ○コレハ都會ヲ  
離レタル静閑ノ地ナリ○此景色ハ夏ナリヤ又冬  
ナリヤ○夏ノ景色ニコレモ無ク又雨モ降ラス  
ニテ甚々悠長<sup>長閑</sup>ナル状ナリ○汝ハ此図ニ於テ何ヲ  
見ルヤ○昔ハ高キ家ト低キ家ト一人ノ男子ト  
七匹ノ羊ト二匹ノ犬トヲ見ル○其他ニ何物ヲ  
モ見ザルヤ○否家ノ左右ニ於テ樹木ヲ見又家



ノ左傍ニ於テ小ナル池ヲ見ル<sup>母</sup>高キ家ハ煉瓦木石ノ中何ヲ以テ造シリト思フヤ○昔ハ石造ナリト思フ

○此家ノ前ニアル大ナル門ハ開ケリヤ又閉ケタ  
リヤ○其門ハ今閉ケテ人ノ出入スルヲ見  
ス  
○汝ハ此門ノ側ニアル小ナル門ヲ見  
得ルヤ○然リ此門モ亦同シク閉ケタリ○此門ノ  
側ニ昇  
階スヘキ石階ナリ在アルモ者ハ何ナリヤ○コ  
レハ昇階スヘキ石階ナリ

低キ家ノ家根ハ何ヲ以テ算ケリヤ○其家根ハ  
木ニモ非ス瓦ニモ非スニテ藁ヲ以テ算ケリ○  
汝ハ此家ノ如何ナリヤ○コレハ客舎

ナリ○汝ハ何ニ由リテ其客舎ナルヲ知レリヤ○  
若ハ屋上ニ掛ケタル招牌ニ由リテ之ヲ知レリ  
○汝ハ此家ノ側ニアル門ヲ見得ルヤ其門ハ大  
ナル門ナリヤ又小ナル門ナリヤ○コレハ荷車  
ノ自由ニ通過スヘキ廣キ門ナレトモ今閉ケテ  
人モ車モ通行スルヲ見ス  
此門前ヲ通行スル人ハ其背ニ小キ包ヲ負ヒテ  
七匹ノ羊ヲ牧場ニ追ヒ行ク所ナリ○此羊ハ皆  
走リモセス跳ビモセス又遊ヒ戯レモセスニテ

徐ニ歩メリ○汝ハ羊ノ外ニ家畜ノ居ルヲ見得  
ルヤ○然リ、若ハ二匹ノ犬ヲ見ル○其犬ハ今如  
何ナル<sup>ハ</sup>状<sup>ニ</sup>シテ居ルヤ○頸<sup>ニ</sup>輪ヲ嵌メタル犬  
ハ鏈ニテ、犬小屋ニ繫カレ他ノ犬ハ繫レスミテ睡  
リ居レリ

テ横入り

汝等右ニ記シタル所ニ由リテ考フレハ必ス都  
會ヲ<sup>テ</sup>離レタル地ノ静ナル状ヲ推知スルナラン  
抑<sup>モ</sup>都會又大市街等ハ人家櫛比ニ隨テ人ノ来  
往スルコト多キカ为<sup>テ</sup>ニ繫<sup>ル</sup>草ナレトモ田舎ノ  
頭<sup>ル</sup>

如キハ其状况總テ之ト相反スルカ故ニ何<sup>レ</sup>地  
ノ如<sup>ク</sup>ニ至ルトモ<sup>モ</sup>甚<sup>ニ</sup>々<sup>ニ</sup>静<sup>ニ</sup>用<sup>ル</sup>ナルモノナリ

小學讀本卷之六終

